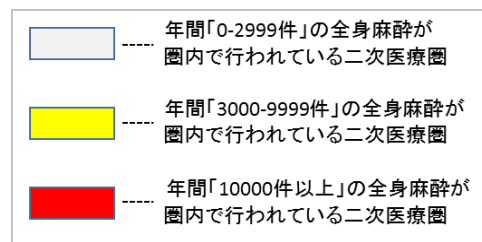
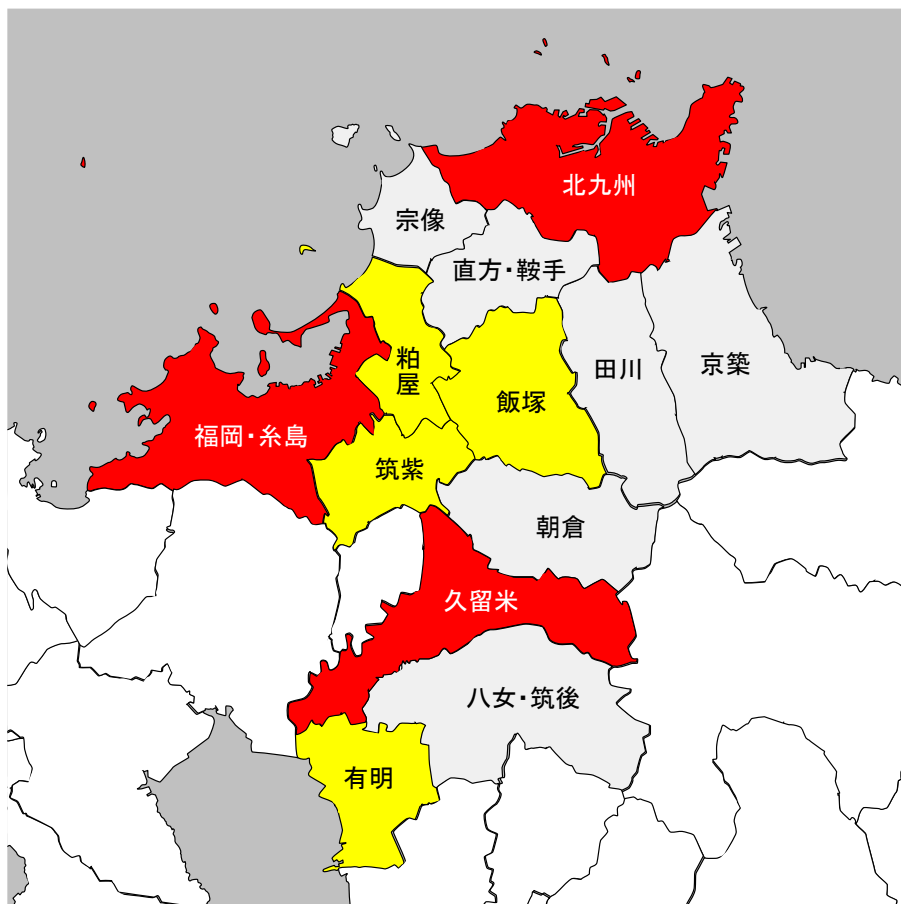


40. 福岡県



目次

福岡県	40	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	40	-	7
1. 福岡・糸島医療圏	40	-	24
2. 粕屋医療圏	40	-	28
3. 宗像医療圏	40	-	32
4. 筑紫医療圏	40	-	36
5. 朝倉医療圏	40	-	40
6. 久留米医療圏	40	-	44
7. 八女・筑後医療圏	40	-	48
8. 有明医療圏	40	-	52
9. 飯塚医療圏	40	-	56
10. 直方・鞍手医療圏	40	-	60
11. 田川医療圏	40	-	64
12. 北九州医療圏	40	-	68
13. 京築医療圏	40	-	72

40. 福岡県

(福岡県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福岡県は、総人口約5,135千人(2020年)、面積4,987km²、人口密度は1,030人/km²である。

*人口の将来予測： 福岡県の総人口は2030年に4,955千人へと減少し(2020年比-4%)、2045年に4,554千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の717千人が、2030年にかけて934千人へと増加し(2020年比+30%)、2045年には921千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福岡県の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値52)、介護給付費は265千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福岡県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、76,877人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が44,279床(偏差値54)、高齢者住宅等が32,598床(偏差値53)である。介護保険施設、高齢者住宅等とも全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、53,711人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設60、介護医療院55、有料老人ホーム53、軽費ホーム51、グループホーム55、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、9,364人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

2. 推移

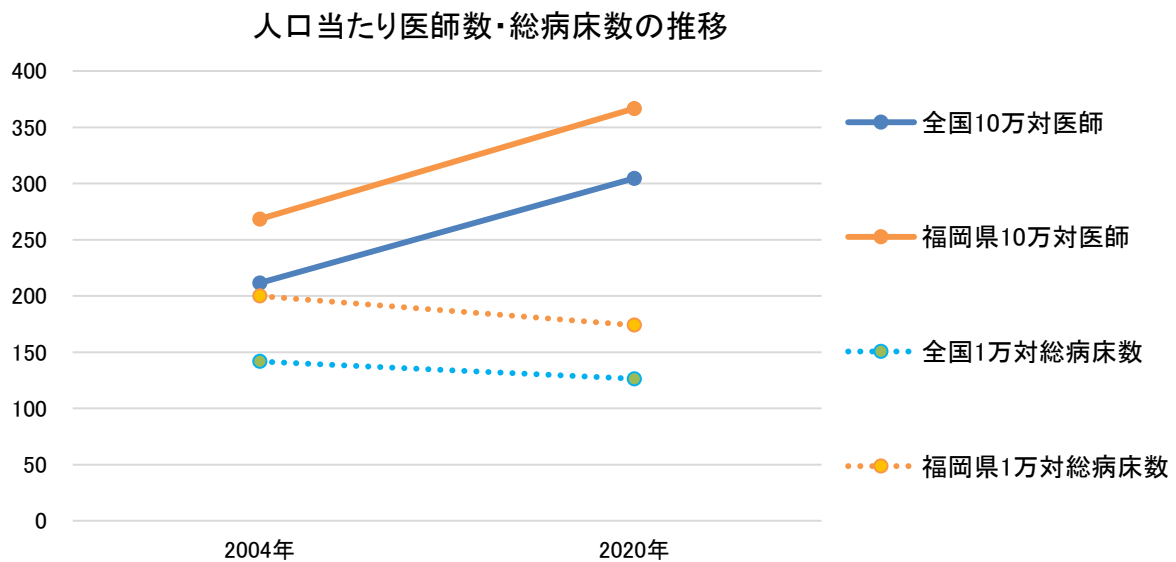
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は481(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に456(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.5)偏差値56)となり、16年間で25病院が減少した。

2004年の診療所数は4,357(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に4,711(人口10万人当たり92診療所(全国平均81)偏差値55)と、354診療所が増加した。

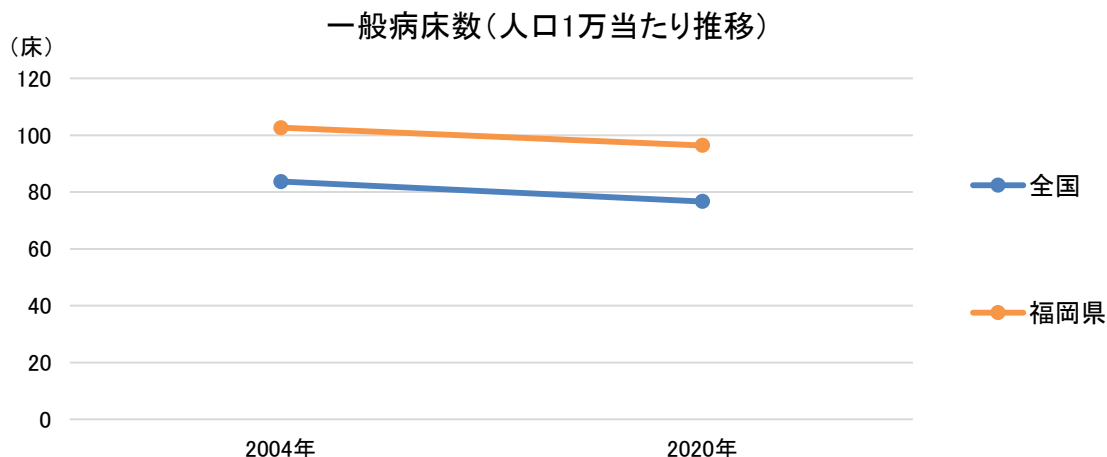
2004年の総病床数は101,039床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2020年に89,399床(人口1万人当たり174(全国平均126)偏差値59)と、11,640床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は13,556人(人口10万人当たり268人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2020年に18,833人(人口10万人当たり367人(全国平均305人)偏差値56)と、5,277人の増加、率にして39%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



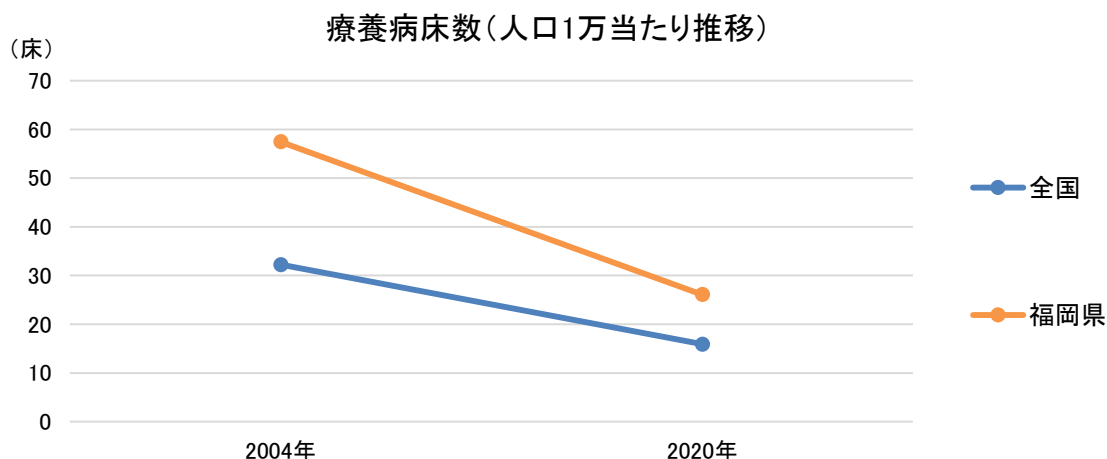
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は51,820床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2020年に49,508床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、2,312床の減少、率にして4%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は26,543床(75歳以上1,000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2020年に18,703床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均16)偏差値61)と、7840床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 40-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
福岡県	5,135	9位	4,987	29位	1,029.8		28%
福岡・糸島	1,711	33%	559	11%	3,060.5	大都市型	22%
粕屋	293	6%	207	4%	1,416.7	地方都市型	24%
宗像	164	3%	173	3%	950.4	地方都市型	29%
筑紫	440	9%	233	5%	1,884.5	地方都市型	24%
朝倉	82	2%	366	7%	223.5	過疎地域型	34%
久留米	453	9%	468	9%	968.3	地方都市型	29%
八女・筑後	129	3%	562	11%	230.2	地方都市型	32%
有明	212	4%	264	5%	802.2	地方都市型	37%
飯塚	175	3%	369	7%	473.2	地方都市型	34%
直方・鞍手	105	2%	252	5%	416.3	地方都市型	36%
田川	118	2%	364	7%	324.3	地方都市型	38%
北九州	1,071	21%	601	12%	1,781.5	大都市型	32%
京築	183	4%	569	11%	321.9	地方都市型	32%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 40-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
福岡県	5,135	4,955	4,554	717	934	921	-4%	-8%	30%	-1%
福岡・糸島	1,711	1,759	1,735	184	272	312	3%	-1%	48%	15%
粕屋	293	292	281	33	46	47	0%	-4%	39%	2%
宗像	164	159	146	24	32	30	-3%	-8%	33%	-6%
筑紫	440	442	424	51	73	79	0%	-4%	43%	8%
朝倉	82	71	57	14	18	15	-13%	-20%	29%	-17%
久留米	453	431	390	67	85	84	-5%	-10%	27%	-1%
八女・筑後	129	116	98	22	26	24	-10%	-16%	18%	-8%
有明	212	182	140	41	47	40	-14%	-23%	15%	-15%
飯塚	175	157	131	29	36	29	-10%	-17%	24%	-19%
直方・鞍手	105	94	78	20	23	18	-10%	-17%	15%	-22%
田川	118	99	73	23	25	18	-16%	-26%	9%	-28%
北九州	1,071	992	864	180	215	193	-7%	-13%	19%	-10%
京築	183	162	136	31	36	31	-11%	-16%	16%	-14%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)
福岡県	382	52	1.061	167	56	1.182	187	43	0.967	265	51
福岡・糸島	340	43	1.021	145	50	1.113	168	32	0.944	264	50
粕屋	384	53	1.056	173	58	1.213	182	40	0.931	241	43
宗像	404	57	1.043	180	60	1.180	194	47	0.935	226	39
筑紫	366	49	1.009	153	52	1.075	184	41	0.946	216	35
朝倉	410	58	1.074	181	61	1.203	201	51	0.979	267	51
久留米	398	56	1.099	177	59	1.241	195	47	1.002	268	51
八女・筑後	400	56	1.092	169	57	1.171	202	51	1.028	269	52
有明	443	66	1.153	208	69	1.372	209	55	1.013	271	52
飯塚	399	56	1.073	179	60	1.222	193	46	0.964	304	62
直方・鞍手	404	57	1.063	178	60	1.194	197	48	0.963	274	53
田川	390	54	1.078	171	57	1.204	192	46	0.990	259	49
北九州	409	58	1.093	181	60	1.229	197	49	0.983	285	57
京築	415	59	1.052	179	60	1.153	206	54	0.973	250	46
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。										

資_図表 40-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
福岡県	1,167	69	1.207	661	68	1.351	462	60	1.045
福岡・糸島	1,176	69	1.224	651	67	1.340	478	64	1.090
粕屋	1,225	73	1.274	712	73	1.479	467	61	1.053
宗像	1,133	66	1.179	644	66	1.320	446	55	1.020
筑紫	1,112	64	1.165	602	62	1.257	465	60	1.060
朝倉	1,207	72	1.229	731	75	1.449	440	54	0.997
久留米	1,123	65	1.156	633	65	1.284	450	56	1.017
八女・筑後	1,154	68	1.169	661	68	1.310	454	57	1.018
有明	1,191	71	1.213	722	74	1.431	433	52	0.981
飯塚	1,153	67	1.164	662	68	1.301	448	56	1.004
直方・鞍手	1,111	64	1.139	634	65	1.271	436	52	0.989
田川	1,185	70	1.195	665	68	1.312	474	63	1.059
北九州	1,192	71	1.234	679	70	1.388	466	60	1.057
京築	1,115	64	1.154	618	64	1.264	460	59	1.044
出典	<一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 40-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
福岡県	456	5.5%	8.9	56	4,711	4.6%	92	55
福岡・糸島	122	27%	7.1	51	1,682	36%	98	59
粕屋	26	6%	8.9	56	182	4%	62	40
宗像	14	3%	8.5	55	124	3%	76	47
筑紫	27	6%	6.1	49	300	6%	68	43
朝倉	8	2%	9.8	58	75	2%	92	55
久留米	47	10%	10.4	59	447	9%	99	59
八女・筑後	14	3%	10.8	60	122	3%	94	57
有明	32	7%	15.1	71	209	4%	99	59
飯塚	21	5%	12.0	63	166	4%	95	57
直方・鞍手	12	3%	11.5	62	100	2%	95	57
田川	16	4%	13.6	67	107	2%	91	55
北九州	103	23%	9.6	57	1,043	22%	97	58
京築	14	3%	7.6	53	154	3%	84	51
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 40-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
福岡県	4,711	4.6%	92	55	4,234	4.4%	82	53	477	7.6%	9.3	58
福岡・糸島	1,682	36%	98	59	1,545	36%	90	57	137	29%	8.0	55
粕屋	182	4%	62	40	163	4%	56	39	19	4%	6.5	53
宗像	124	3%	76	47	107	3%	65	44	17	4%	10.4	59
筑紫	300	6%	68	43	269	6%	61	42	31	6%	7.1	54
朝倉	75	2%	92	55	69	2%	84	54	6	1%	7.3	54
久留米	447	9%	99	59	376	9%	83	53	71	15%	15.7	69
八女・筑後	122	3%	94	57	112	3%	87	55	10	2%	7.7	55
有明	209	4%	99	59	177	4%	84	54	32	7%	15.1	68
飯塚	166	4%	95	57	146	3%	84	54	20	4%	11.4	61
直方・鞍手	100	2%	95	57	93	2%	89	56	7	1%	6.7	53
田川	107	2%	91	55	89	2%	75	50	18	4%	15.3	68
北九州	1,043	22%	97	58	950	22%	89	56	93	19%	8.7	57
京築	154	3%	84	51	138	3%	75	49	16	3%	8.7	57
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
福岡県	82,664	5.5%	1,610	59	6,735	7.8%	131	57	89,399	5.6%	1,741	59
福岡・糸島	22,240	27%	1,300	52	1,802	27%	105	54	24,042	27%	1,405	53
粕屋	4,238	5%	1,447	55	279	4%	95	53	4,517	5%	1,542	55
宗像	2,263	3%	1,379	54	245	4%	149	59	2,508	3%	1,528	55
筑紫	4,665	6%	1,061	47	512	8%	116	56	5,177	6%	1,177	48
朝倉	1,293	2%	1,581	58	83	1%	102	54	1,376	2%	1,683	58
久留米	8,753	11%	1,932	65	999	15%	221	67	9,752	11%	2,153	67
八女・筑後	2,339	3%	1,808	63	124	2%	96	53	2,463	3%	1,903	62
有明	5,695	7%	2,691	81	507	8%	240	70	6,202	7%	2,931	81
飯塚	3,631	4%	2,078	68	306	5%	175	62	3,937	4%	2,253	68
直方・鞍手	1,842	2%	1,759	62	101	1%	96	53	1,943	2%	1,855	61
田川	3,005	4%	2,548	78	296	4%	251	71	3,301	4%	2,798	79
北九州	20,262	25%	1,892	64	1,292	19%	121	56	21,554	24%	2,013	64
京築	2,438	3%	1,330	53	189	3%	103	54	2,627	3%	1,433	53
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 40-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般				療養				精神			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
福岡県	43,518	4.9%	847	56	17,958	6.2%	350	57	20,900	6.4%	407	57
福岡・糸島	13,507	31%	789	54	4,326	24%	253	51	4,341	21%	254	50
粕屋	2,162	5%	738	51	1,002	6%	342	56	1,006	5%	344	54
宗像	791	2%	482	40	504	3%	307	54	968	5%	590	65
筑紫	2,072	5%	471	40	1,278	7%	291	53	1,311	6%	298	52
朝倉	581	1%	711	50	372	2%	455	62	340	2%	416	57
久留米	4,631	11%	1,022	64	2,068	12%	457	62	2,040	10%	450	59
八女・筑後	1,045	2%	808	55	828	5%	640	72	464	2%	359	55
有明	2,874	7%	1,358	79	1,133	6%	535	67	1,666	8%	787	74
飯塚	2,332	5%	1,335	78	438	2%	251	51	861	4%	493	61
直方・鞍手	665	2%	635	47	417	2%	398	59	730	3%	697	70
田川	1,005	2%	852	56	321	2%	272	52	1,671	8%	1,417	102
北九州	11,088	25%	1,036	64	4,498	25%	420	60	4,602	22%	430	58
京築	765	2%	417	37	773	4%	422	60	900	4%	491	60
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 40-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
福岡県	5,356	6.1%	104	57	7,160	9.6%	139	60
福岡・糸島	1,661	31%	97	55	2,095	29%	122	58
粕屋	269	5%	92	54	322	4%	110	57
宗像	105	2%	64	49	199	3%	121	58
筑紫	239	4%	54	47	435	6%	99	55
朝倉	88	2%	108	57	142	2%	174	65
久留米	631	12%	139	63	456	6%	101	55
八女・筑後	139	3%	107	57	276	4%	213	70
有明	345	6%	163	68	417	6%	197	68
飯塚	246	5%	141	64	471	7%	270	77
直方・鞍手	141	3%	135	62	259	4%	247	74
田川	120	2%	102	56	143	2%	121	58
北九州	1,237	23%	116	59	1,733	24%	162	63
京築	135	3%	74	51	212	3%	116	57
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

資_図表 40-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
福岡県	13,894	12,847	239	68,763	30,426	18,008	29.7%	44	1.3%	48
福岡・糸島	5,227	5,038	30	17,299	8,479	4,580	37.3%	47	0.7%	48
粕屋	579	529	0	3,767	1,609	1,134	24.7%	42	0.0%	48
宗像	0	0	0	2,263	765	530	0.0%	33	0.0%	48
筑紫	760	430	0	3,893	1,642	1,266	20.8%	41	0.0%	48
朝倉	0	0	0	1,234	534	360	0.0%	33	0.0%	48
久留米	175	175	0	8,617	4,463	2,100	3.8%	34	0.0%	48
八女・筑後	563	561	0	1,728	484	780	53.7%	53	0.0%	48
有明	918	896	0	4,714	1,915	1,133	31.9%	45	0.0%	48
飯塚	732	732	0	2,788	1,543	388	32.2%	45	0.0%	48
直方・鞍手	440	410	0	1,492	355	407	53.6%	53	0.0%	48
田川	537	443	86	2,426	559	235	44.2%	50	26.8%	59
北九州	3,963	3,633	123	16,104	7,313	4,322	33.2%	46	2.8%	49
京築	0	0	0	2,438	765	773	0.0%	33	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覽令和4年4月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/ 日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務 員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病 院など全て民間に分類)。これ以外を民間病院としている。指定一覽掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
福岡県	111,977	4.8%	2,181	54	37,212	4.4%	725	52
福岡・糸島	49,250	44%	2,878	63	13,212	36%	772	54
粕屋	3,511	3%	1,199	42	1,308	4%	447	42
宗像	744	1%	453	33	864	2%	526	45
筑紫	3,111	3%	708	36	2,628	7%	598	48
朝倉	739	1%	904	39	468	1%	572	47
久留米	13,455	12%	2,970	64	4,152	11%	917	59
八女・筑後	2,429	2%	1,877	51	912	2%	705	51
有明	3,353	3%	1,584	47	1,716	5%	811	55
飯塚	4,608	4%	2,637	60	1,740	5%	996	62
直方・鞍手	1,277	1%	1,219	42	432	1%	412	41
田川	1,210	1%	1,026	40	456	1%	387	40
北九州	26,229	23%	2,450	58	8,364	22%	781	54
京築	2,061	2%	1,124	41	960	3%	524	45
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資_図表 40-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
福岡県	18,833	4.9%	367	56	12,163	5.0%	237	56	6,669	4.7%	130	55
福岡・糸島	6,766	36%	395	59	4,249	35%	248	57	2,517	38%	147	60
粕屋	762	4%	260	46	502	4%	172	47	260	4%	89	43
宗像	370	2%	225	42	208	2%	126	41	162	2%	99	46
筑紫	1,024	5%	233	43	592	5%	135	42	432	6%	98	46
朝倉	212	1%	260	45	113	1%	138	43	99	1%	122	53
久留米	2,250	12%	497	69	1,592	13%	351	71	658	10%	145	60
八女・筑後	369	2%	285	48	226	2%	174	48	143	2%	110	50
有明	722	4%	341	54	444	4%	210	52	278	4%	131	56
飯塚	765	4%	438	63	573	5%	328	68	192	3%	110	49
直方・鞍手	261	1%	249	44	133	1%	127	41	128	2%	122	53
田川	390	2%	331	53	267	2%	227	54	123	2%	104	48
北九州	4,541	24%	424	62	3,076	25%	287	62	1,465	22%	137	57
京築	401	2%	219	41	188	2%	103	38	213	3%	116	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 40-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
福岡県	1,611	4.9%	31.4	54	697	4.9%	13.6	55	468	4.0%	9.1	50
福岡・糸島	662	41%	38.7	60	272	39%	15.9	60	195	42%	11.4	55
粕屋	79	5%	27.0	51	33	5%	11.3	50	19	4%	6.5	44
宗像	26	2%	15.8	42	20	3%	12.2	52	8	2%	4.9	40
筑紫	82	5%	18.6	44	35	5%	8.0	43	12	3%	2.7	35
朝倉	12	1%	14.7	41	5	1%	6.1	40	1	0%	1.2	31
久留米	188	12%	41.5	62	112	16%	24.7	78	71	15%	15.7	65
八女・筑後	16	1%	12.4	39	10	1%	7.7	43	5	1%	3.9	38
有明	51	3%	24.1	48	19	3%	9.0	45	11	2%	5.2	41
飯塚	90	6%	51.5	70	22	3%	12.6	53	14	3%	8.0	47
直方・鞍手	24	1%	22.9	47	9	1%	8.6	45	2	0%	1.9	33
田川	16	1%	13.6	40	11	2%	9.3	46	6	1%	5.1	40
北九州	354	22%	33.1	55	143	21%	13.4	54	119	25%	11.1	54
京築	11	1%	6.0	34	6	1%	3.3	34	5	1%	2.7	35
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 40-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
福岡県	250	4.2%	4.9	51	387	3.9%	7.5	49	307	4.1%	6.0	50
福岡・糸島	109	44%	6.4	57	170	44%	9.9	57	133	43%	7.8	57
粕屋	10	4%	3.4	44	17	4%	5.8	44	9	3%	3.1	39
宗像	6	2%	3.7	45	12	3%	7.3	48	6	2%	3.7	41
筑紫	13	5%	3.0	42	14	4%	3.2	35	17	6%	3.9	42
朝倉	0	0%	0	30	5	1%	6.1	45	3	1%	3.7	41
久留米	25	10%	5.5	53	39	10%	8.6	53	39	13%	8.6	60
八女・筑後	4	2%	3.1	43	8	2%	6.2	45	8	3%	6.2	51
有明	13	5%	6.1	56	13	3%	6.1	45	9	3%	4.3	43
飯塚	10	4%	5.7	54	15	4%	8.6	53	8	3%	4.6	45
直方・鞍手	3	1%	2.9	42	4	1%	3.8	37	7	2%	6.7	53
田川	2	1%	1.7	37	6	2%	5.1	41	1	0%	0.8	31
北九州	53	21%	4.9	51	76	20%	7.1	48	61	20%	5.7	49
京築	2	1%	1.1	34	8	2%	4.4	39	6	2%	3.3	40
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
福岡県	504	5.1%	9.8	55	1,175	5.3%	22.9	57	900	5.1%	17.5	58
福岡・糸島	187	37%	10.9	59	479	41%	28.0	65	337	37%	19.7	62
粕屋	16	3%	5.5	43	36	3%	12.3	42	36	4%	12.3	47
宗像	22	4%	13.4	65	21	2%	12.8	43	16	2%	9.7	42
筑紫	29	6%	6.6	46	49	4%	11.1	41	44	5%	10.0	42
朝倉	7	1%	8.6	52	13	1%	15.9	47	9	1%	11.0	44
久留米	72	14%	15.9	72	173	15%	38.2	79	99	11%	21.9	66
八女・筑後	7	1%	5.4	43	15	1%	11.6	41	32	4%	24.7	72
有明	26	5%	12.3	62	38	3%	18.0	50	36	4%	17.0	56
飯塚	16	3%	9.2	54	37	3%	21.2	55	29	3%	16.6	56
直方・鞍手	13	3%	12.4	63	19	2%	18.1	51	14	2%	13.4	49
田川	17	3%	14.4	68	17	1%	14.4	45	13	1%	11.0	44
北九州	83	16%	7.8	50	259	22%	24.2	59	212	24%	19.8	62
京築	9	2%	4.9	42	19	2%	10.4	40	23	3%	12.5	47

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

資_図表 40-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
福岡県	283	4.5%	5.5	52	327	4.6%	6.4	53	364	5.7%	7.1	56
福岡・糸島	105	37%	6.1	55	121	37%	7.1	56	143	39%	8.4	60
粕屋	16	6%	5.5	52	15	5%	5.1	48	5	1%	1.7	40
宗像	5	2%	3.0	41	12	4%	7.3	57	9	2%	5.5	51
筑紫	21	7%	4.8	49	22	7%	5.0	47	15	4%	3.4	45
朝倉	2	1%	2.4	39	4	1%	4.9	47	7	2%	8.6	61
久留米	37	13%	8.2	64	39	12%	8.6	62	63	17%	13.9	77
八女・筑後	6	2%	4.6	48	11	3%	8.5	61	8	2%	6.2	53
有明	7	2%	3.3	43	12	4%	5.7	50	16	4%	7.6	57
飯塚	10	4%	5.7	53	11	3%	6.3	53	9	2%	5.2	50
直方・鞍手	6	2%	5.7	53	5	2%	4.8	46	3	1%	2.9	43
田川	5	2%	4.2	47	4	1%	3.4	41	2	1%	1.7	40
北九州	56	20%	5.2	51	65	20%	6.1	52	82	23%	7.7	58
京築	7	2%	3.8	45	6	2%	3.3	40	2	1%	1.1	38

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

資_図表 40-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
福岡県	372	4.7%	7.2	53	74	4.1%	1.4	50	208	4.4%	4.1	51
福岡・糸島	166	45%	9.7	60	30	41%	1.8	53	64	31%	3.7	50
粕屋	8	2%	2.7	40	4	5%	1.4	49	5	2%	1.7	41
宗像	5	1%	3.0	41	0	0%	0	36	5	2%	3.0	47
筑紫	18	5%	4.1	44	4	5%	0.9	45	18	9%	4.1	52
朝倉	2	1%	2.4	39	0	0%	0	36	2	1%	2.4	44
久留米	43	12%	9.5	59	13	18%	2.9	64	31	15%	6.8	64
八女・筑後	5	1%	3.9	43	1	1%	0.8	43	2	1%	1.5	41
有明	6	2%	2.8	40	1	1%	0.5	40	6	3%	2.8	46
飯塚	9	2%	5.2	47	2	3%	1.1	47	6	3%	3.4	49
直方・鞍手	2	1%	1.9	37	0	0%	0	36	0	0%	0	34
田川	3	1%	2.5	39	0	0%	0	36	2	1%	1.7	41
北九州	102	27%	9.5	59	19	26%	1.8	53	58	28%	5.4	57
京築	3	1%	1.6	36	0	0%	0	36	9	4%	4.9	55
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 40-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテー ション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
福岡県	117	4.9%	2.3	53	140	4.9%	2.7	53
福岡・糸島	53	45%	3.1	59	42	30%	2.5	51
粕屋	3	3%	1.0	44	4	3%	1.4	44
宗像	1	1%	0.6	41	3	2%	1.8	47
筑紫	5	4%	1.1	45	11	8%	2.5	51
朝倉	0	0%	0	37	0	0%	0	36
久留米	18	15%	4.0	65	19	14%	4.2	62
八女・筑後	1	1%	0.8	42	4	3%	3.1	55
有明	2	2%	0.9	43	2	1%	0.9	42
飯塚	3	3%	1.7	49	6	4%	3.4	57
直方・鞍手	1	1%	1.0	43	2	1%	1.9	48
田川	2	2%	1.7	49	1	1%	0.8	41
北九州	27	23%	2.5	55	45	32%	4.2	62
京築	1	1%	0.5	41	1	1%	0.5	39
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
福岡県	66,044	5.7%	1,286	63	51,381	5.6%	1,001	61	14,663	5.9%	286	62
福岡・糸島	20,608	31%	1,204	60	15,650	30%	915	58	4,958	34%	290	63
粕屋	3,095	5%	1,057	55	2,496	5%	852	55	599	4%	204	51
宗像	1,595	2%	972	52	1,200	2%	731	50	395	3%	241	56
筑紫	3,520	5%	801	46	2,567	5%	584	44	953	6%	217	53
朝倉	862	1%	1,054	55	652	1%	797	53	210	1%	257	58
久留米	6,953	11%	1,535	71	5,552	11%	1,226	71	1,401	10%	309	65
八女・筑後	1,831	3%	1,415	67	1,407	3%	1,087	65	424	3%	327	68
有明	3,687	6%	1,742	79	2,927	6%	1,383	78	760	5%	359	72
飯塚	2,903	4%	1,661	76	2,340	5%	1,340	76	562	4%	322	67
直方・鞍手	1,234	2%	1,178	59	952	2%	909	58	282	2%	270	60
田川	1,784	3%	1,512	71	1,377	3%	1,167	68	407	3%	345	70
北九州	16,061	24%	1,500	70	12,881	25%	1,203	70	3,179	22%	297	64
京築	1,912	3%	1,043	54	1,379	3%	752	51	533	4%	291	63
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 40-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	療法士総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
福岡県	9,229	6.2%	180	60	12,714	3.9%	248	49
福岡・糸島	2,685	29%	157	56	5,111	40%	299	54
粕屋	512	6%	175	59	496	4%	169	41
宗像	208	2%	127	51	310	2%	189	43
筑紫	482	5%	110	49	840	7%	191	43
朝倉	119	1%	146	54	169	1%	207	45
久留米	1,158	13%	256	72	1,210	10%	267	51
八女・筑後	292	3%	225	67	272	2%	210	45
有明	622	7%	294	78	498	4%	235	48
飯塚	491	5%	281	76	425	3%	243	49
直方・鞍手	159	2%	151	55	178	1%	170	41
田川	148	2%	125	51	243	2%	206	45
北九州	2,101	23%	196	63	2,620	21%	245	49
京築	252	3%	137	53	342	3%	187	43
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資_図表 40-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
福岡県	807	5.3%	1.1	58	102	6.0%	0.1	57	741	5.2%	1.0	61
福岡・糸島	251	31%	1.4	63	27	26%	0.1	57	253	34%	1.4	74
粕屋	31	4%	0.9	53	7	7%	0.2	66	29	4%	0.9	54
宗像	20	2%	0.8	50	3	3%	0.1	55	14	2%	0.6	43
筑紫	40	5%	0.8	49	8	8%	0.2	59	45	6%	0.9	55
朝倉	31	4%	2.2	85	2	2%	0.1	57	9	1%	0.6	45
久留米	86	11%	1.3	62	15	15%	0.2	68	80	11%	1.2	67
八女・筑後	34	4%	1.6	68	2	2%	0.1	50	13	2%	0.6	43
有明	42	5%	1.0	55	4	4%	0.1	51	27	4%	0.7	46
飯塚	21	3%	0.7	48	4	4%	0.1	56	34	5%	1.2	66
直方・鞍手	21	3%	1.1	56	1	1%	0.1	45	23	3%	1.2	66
田川	17	2%	0.8	48	1	1%	0.0	44	42	6%	1.9	93
北九州	187	23%	1.0	55	23	23%	0.1	55	147	20%	0.8	52
京築	26	3%	0.8	51	5	5%	0.2	59	25	3%	0.8	52
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

資_図表 40-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
福岡県	76,877	4.3%	107	57	44,279	4.3%	62	54	32,598	4.2%	45	53
福岡・糸島	20,214	26%	110	58	10,183	23%	55	50	10,031	31%	54	60
粕屋	3,430	4%	104	54	2,240	5%	68	58	1,190	4%	36	46
宗像	2,107	3%	89	44	1,317	3%	55	50	790	2%	33	44
筑紫	4,683	6%	92	47	2,331	5%	46	43	2,352	7%	46	54
朝倉	1,524	2%	109	58	1,208	3%	87	72	316	1%	23	36
久留米	6,377	8%	96	49	3,595	8%	54	49	2,782	9%	42	50
八女・筑後	2,317	3%	106	56	1,627	4%	74	63	690	2%	32	43
有明	4,159	5%	102	53	2,848	6%	70	60	1,311	4%	32	43
飯塚	3,827	5%	131	72	2,382	5%	82	69	1,445	4%	50	56
直方・鞍手	2,924	4%	149	83	1,530	3%	78	66	1,394	4%	71	72
田川	3,807	5%	168	96	2,409	5%	106	86	1,398	4%	62	65
北九州	17,939	23%	100	52	10,507	24%	58	52	7,432	23%	41	50
京築	3,569	5%	116	62	2,102	5%	68	59	1,467	5%	48	55
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護医療 院 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
福岡県	14,451	4.0%	20	51	24,251	4.0%	34	51	2,884	11.4%	4.0	60	2,693	6.8%	3.8	55
福岡・糸島	2,923	20%	16	44	6,067	25%	33	50	542	19%	2.9	56	651	24%	3.5	54
粕屋	555	4%	17	45	815	3%	25	42	519	18%	15.7	104	351	13%	10.6	74
宗像	345	2%	15	42	651	3%	27	45	150	5%	6.3	69	171	6%	7.2	64
筑紫	560	4%	11	36	1,367	6%	27	44	180	6%	3.5	58	224	8%	4.4	57
朝倉	548	4%	39	81	660	3%	47	65	0	0%	0	45	0	0%	0	44
久留米	1,360	9%	20	51	1,691	7%	25	43	266	9%	4.0	60	278	10%	4.2	56
八女・筑後	654	5%	30	66	925	4%	42	60	0	0%	0	45	48	2%	2.2	50
有明	1,158	8%	28	64	1,354	6%	33	51	197	7%	4.8	63	139	5%	3.4	54
飯塚	810	6%	28	63	1,282	5%	44	61	117	4%	4.0	60	173	6%	5.9	61
直方・鞍手	614	4%	31	68	680	3%	35	52	146	5%	7.4	73	90	3%	4.6	57
田川	780	5%	34	74	1,570	6%	69	87	59	2%	2.6	55	0	0%	0	44
北九州	3,238	22%	18	47	6,068	25%	34	51	668	23%	3.7	59	533	20%	3.0	52
京築	906	6%	30	66	1,121	5%	37	54	40	1%	1.3	50	35	1%	1.1	47
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 40-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
福岡県	12,067	4.7%	16.8	53	1,033	4.3%	1.4	51	10,252	4.8%	14.3	55
福岡・糸島	4,291	36%	23.3	60	135	13%	0.7	47	2,266	22%	12.3	52
粕屋	449	4%	13.6	50	40	4%	1.2	50	369	4%	11.1	49
宗像	326	3%	13.7	50	29	3%	1.2	50	207	2%	8.7	45
筑紫	1,096	9%	21.6	58	50	5%	1.0	49	489	5%	9.6	47
朝倉	43	0%	3.1	38	0	0%	0	44	126	1%	9.0	46
久留米	553	5%	8.3	44	60	6%	0.9	48	1,395	14%	20.9	67
八女・筑後	89	1%	4.1	40	0	0%	0	44	387	4%	17.7	61
有明	319	3%	7.8	44	20	2%	0.5	46	526	5%	12.9	53
飯塚	385	3%	13.2	49	80	8%	2.7	57	412	4%	14.1	55
直方・鞍手	473	4%	24.0	61	100	10%	5.1	68	432	4%	22.0	69
田川	292	2%	12.9	49	79	8%	3.5	60	783	8%	34.6	91
北九州	3,006	25%	16.7	53	340	33%	1.9	53	2,483	24%	13.8	54
京築	745	6%	24.3	61	100	10%	3.3	59	377	4%	12.3	51
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 40-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(特定施設)			サ高住(非特定施設)							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108	1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)	
福岡県	9,246	3.4%	12.9	47	359	1.1%	0.5	43	8,887	3.7%	12.4	49
福岡・糸島	3,339	36%	18.1	55	0	0%	0	41	3,339	38%	18.1	58
粕屋	332	4%	10.0	43	0	0%	0	41	332	4%	10.0	46
宗像	228	2%	9.6	43	0	0%	0	41	228	3%	9.6	45
筑紫	717	8%	14.1	49	100	28%	2.0	51	617	7%	12.2	49
朝倉	147	2%	10.6	44	0	0%	0	41	147	2%	10.6	46
久留米	774	8%	11.6	45	0	0%	0	41	774	9%	11.6	48
八女・筑後	214	2%	9.8	43	45	13%	2.1	51	169	2%	7.7	42
有明	446	5%	11.0	45	0	0%	0	41	446	5%	11.0	47
飯塚	568	6%	19.5	57	0	0%	0	41	568	6%	19.5	60
直方・鞍手	389	4%	19.8	57	69	19%	3.5	59	320	4%	16.3	55
田川	244	3%	10.8	44	0	0%	0	41	244	3%	10.8	47
北九州	1,603	17%	8.9	42	145	40%	0.8	45	1,458	16%	8.1	43
京築	245	3%	8.0	40	0	0%	0	41	245	3%	8.0	42
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 40-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			訪問看護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762	6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)	
福岡県	8,952	4.7%	12.5	60	5,497	4.6%	7.7	56	3,455	5.0%	4.8	59
福岡・糸島	2,649	30%	14.4	68	1,415	26%	7.7	56	1,235	36%	6.7	73
粕屋	557	6%	16.8	79	445	8%	13.4	84	112	3%	3.4	48
宗像	227	3%	9.5	47	162	3%	6.8	52	65	2%	2.7	42
筑紫	498	6%	9.8	49	269	5%	5.3	45	228	7%	4.5	56
朝倉	151	2%	10.8	53	114	2%	8.2	59	37	1%	2.6	42
久留米	796	9%	11.9	58	416	8%	6.2	49	380	11%	5.7	65
八女・筑後	256	3%	11.7	57	174	3%	8.0	57	82	2%	3.8	50
有明	469	5%	11.5	56	360	7%	8.9	62	109	3%	2.7	42
飯塚	370	4%	12.7	61	255	5%	8.8	61	115	3%	3.9	52
直方・鞍手	307	3%	15.6	74	194	4%	9.8	67	114	3%	5.8	66
田川	394	4%	17.4	81	220	4%	9.7	66	175	5%	7.7	81
北九州	1,883	21%	10.5	51	1,179	21%	6.6	51	704	20%	3.9	52
京築	394	4%	12.9	62	294	5%	9.6	65	101	3%	3.3	47
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員数 (在宅)			
					介護職員数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
福岡県	63,075	4.1%	88	53	53,711	4.0%	75	53	9,364	4.1%	13.1	51
福岡・糸島	16,014	25%	87	53	13,038	24%	71	50	2,976	32%	16.2	58
粕屋	2,315	4%	70	39	2,038	4%	62	42	277	3%	8.4	42
宗像	1,758	3%	74	42	1,559	3%	66	45	199	2%	8.4	42
筑紫	3,653	6%	72	41	3,131	6%	62	42	523	6%	10.3	46
朝倉	1,282	2%	92	57	1,226	2%	88	63	56	1%	4.0	34
久留米	6,182	10%	93	57	5,517	10%	83	59	665	7%	10.0	45
八女・筑後	2,199	3%	101	63	1,964	4%	90	65	235	3%	10.8	47
有明	3,884	6%	96	59	3,376	6%	83	59	508	5%	12.5	50
飯塚	2,833	4%	97	61	2,361	4%	81	58	472	5%	16.2	58
直方・鞍手	2,005	3%	102	64	1,753	3%	89	64	252	3%	12.8	51
田川	3,189	5%	141	95	2,600	5%	115	85	588	6%	26.0	77
北九州	15,195	24%	84	51	12,896	24%	72	50	2,299	25%	12.8	51
京築	2,565	4%	84	50	2,252	4%	73	52	313	3%	10.2	46
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 40-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
福岡県	61,958	4.2%	86	52	21,838	3.2%	30	46	46,841	4.1%	65	52
福岡・糸島	25,883	42%	141	67	7,910	36%	43	55	15,518	33%	84	60
粕屋	2,194	4%	66	46	1,078	5%	33	47	1,642	4%	50	45
宗像	1,716	3%	72	48	381	2%	16	35	1,136	2%	48	44
筑紫	3,136	5%	62	45	1,296	6%	26	42	2,535	5%	50	45
朝倉	596	1%	43	40	160	1%	11	32	352	1%	25	34
久留米	5,104	8%	77	49	1,910	9%	29	44	3,136	7%	47	44
八女・筑後	967	2%	44	40	374	2%	17	36	836	2%	38	40
有明	2,498	4%	61	45	808	4%	20	38	2,018	4%	50	45
飯塚	2,844	5%	98	55	827	4%	28	44	2,193	5%	75	56
直方・鞍手	1,655	3%	84	51	473	2%	24	41	1,247	3%	63	51
田川	1,065	2%	47	41	1,031	5%	46	56	1,952	4%	86	61
北九州	12,371	20%	69	47	4,887	22%	27	43	12,578	27%	70	54
京築	1,929	3%	63	45	703	3%	23	40	1,698	4%	55	47
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの							

資_図表 40-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
福岡県	481	9.5	56	456	8.9	56	-25	-5%
福岡・糸島	131	8.7	54	122	7.1	51	-9	-7%
粕屋	26	10.0	57	26	8.9	56	0	0%
宗像	14	9.3	56	14	8.5	55	0	0%
筑紫	28	6.8	49	27	6.1	49	-1	-4%
朝倉	9	9.8	57	8	9.8	58	-1	-11%
久留米	49	10.5	59	47	10.4	59	-2	-4%
八女・筑後	14	9.9	57	14	10.8	60	0	0%
有明	34	13.7	67	32	15.1	71	-2	-6%
飯塚	24	12.4	64	21	12.0	63	-3	-13%
直方・鞍手	13	11.2	61	12	11.5	62	-1	-8%
田川	17	12.1	63	16	13.6	67	-1	-6%
北九州	105	9.2	56	103	9.6	57	-2	-2%
京築	17	8.9	55	14	7.6	53	-3	-18%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 40-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
福岡県	4,357	86	55	4,711	92	55	354	8%
福岡・糸島	1,372	92	58	1,682	98	59	310	23%
粕屋	135	52	38	182	62	40	47	35%
宗像	94	63	43	124	76	47	30	32%
筑紫	248	60	42	300	68	43	52	21%
朝倉	75	82	53	75	92	55	0	0%
久留米	433	93	58	447	99	59	14	3%
八女・筑後	120	85	54	122	94	57	2	2%
有明	244	98	61	209	99	59	-35	-14%
飯塚	167	86	55	166	95	57	-1	-1%
直方・鞍手	100	87	55	100	95	57	0	0%
田川	112	80	52	107	91	55	-5	-4%
北九州	1,109	97	61	1,043	97	58	-66	-6%
京築	148	77	51	154	84	51	6	4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

40.福岡県(2022年版)

資_図表 40-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
福岡県	13,556	268	57	18,833	367	56	5,277	39%
福岡・糸島	4,830	322	63	6,766	395	59	1,936	40%
粕屋	386	148	42	762	260	46	376	97%
宗像	217	145	42	370	225	42	153	70%
筑紫	680	165	44	1,024	233	43	344	51%
朝倉	158	173	45	212	260	45	54	34%
久留米	1,894	407	73	2,250	497	69	356	19%
八女・筑後	282	199	49	369	285	48	87	31%
有明	596	239	53	722	341	54	126	21%
飯塚	476	246	54	765	438	63	289	61%
直方・鞍手	207	179	46	261	249	44	54	26%
田川	269	191	48	390	331	53	121	45%
北九州	3,302	290	59	4,541	424	62	1,239	38%
京築	259	135	41	401	219	41	142	55%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 40-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
福岡県	101,039	200	60	89,399	174	59	-11,640	-12%
福岡・糸島	26,329	176	56	24,042	140	53	-2,287	-9%
粕屋	5,071	194	59	4,517	154	55	-554	-11%
宗像	2,810	188	58	2,508	153	55	-302	-11%
筑紫	5,837	141	50	5,177	118	48	-660	-11%
朝倉	1,716	188	58	1,376	168	58	-340	-20%
久留米	11,336	243	68	9,752	215	67	-1,584	-14%
八女・筑後	2,803	198	60	2,463	190	62	-340	-12%
有明	7,012	282	75	6,202	293	81	-810	-12%
飯塚	4,731	244	68	3,937	225	68	-794	-17%
直方・鞍手	2,357	204	61	1,943	186	61	-414	-18%
田川	3,783	269	73	3,301	280	79	-482	-13%
北九州	23,901	210	62	21,554	201	64	-2,347	-10%
京築	3,353	175	56	2,627	143	53	-726	-22%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 40-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
福岡県	51,820	103	57	49,508	96	57	-2,312	-4%
福岡・糸島	15,066	100	56	15,122	88	54	56	0%
粕屋	2,010	77	48	2,436	83	52	426	21%
宗像	974	65	43	1,010	62	44	36	4%
筑紫	2,771	67	44	2,548	58	43	-223	-8%
朝倉	829	91	52	664	81	52	-165	-20%
久留米	6,492	139	70	5,542	122	67	-950	-15%
八女・筑後	1,427	101	56	1,163	90	55	-264	-19%
有明	3,523	141	71	3,337	158	81	-186	-5%
飯塚	2,941	152	74	2,599	149	77	-342	-12%
直方・鞍手	874	76	47	745	71	48	-129	-15%
田川	1,334	95	54	1,243	105	61	-91	-7%
北九州	12,465	110	59	12,158	114	64	-307	-2%
京築	1,114	58	41	941	51	40	-173	-16%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 40-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
福岡県	26,543	57	64	18,703	26	61	-7,840	-30%
福岡・糸島	6,526	64	68	4,513	25	59	-2,013	-31%
粕屋	1,914	103	90	1,007	30	66	-907	-47%
宗像	868	60	66	530	22	57	-338	-39%
筑紫	1,755	67	70	1,314	26	61	-441	-25%
朝倉	529	46	58	372	27	62	-157	-30%
久留米	2,644	60	66	2,156	32	68	-488	-18%
八女・筑後	912	53	62	834	38	74	-78	-9%
有明	1,667	50	60	1,177	29	64	-490	-29%
飯塚	770	33	50	477	16	51	-293	-38%
直方・鞍手	640	43	56	438	22	57	-202	-32%
田川	440	23	45	379	17	51	-61	-14%
北九州	6,581	57	64	4,720	26	61	-1,861	-28%
京築	1,297	60	66	786	26	60	-511	-39%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

40-1. ふくおか いとじま 福岡・糸島医療圏

構成市区町村 [東区](#) [博多区](#) [中央区](#) [南区](#)
[西区](#) [城南区](#) [早良区](#) [糸島市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(福岡・糸島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福岡・糸島(福岡市東区)は、総人口約1,711千人(2020年)、面積559km²、人口密度は3,060人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 福岡・糸島の総人口は2030年に1,759千人へと増加し(2020年比+3%)、2045年に1,735千人へと減少する(2030年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の184千人が、2030年にかけて272千人へと増加し(2020年比+48%)、2045年には312千人へと減少する(2030年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福岡・糸島の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値43)、介護給付費は264千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が59(病院医師数57、診療所医師数60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。福岡・糸島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の九州中央病院(標準群)、浜の町病院(標準群)、原三信病院(標準群)、福岡市立こども病院(標準群)、NHQ九州医療センター(特定群・救命)、福岡赤十字病院(特定群)、福岡県済生会福岡総合病院(特定群・救命)、九州大学病院(大学本院群・救命)、福岡大学病院(大学本院群・救命)、1000例以上のNHQ九州がんセンター(標準群)、福岡和白病院(特定群)、500例以上の福西会病院(標準群)、福岡記念病院(標準群)、白十字病院(標準群)、佐田病院(標準群)、福岡市民病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福岡・糸島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、20,214人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,183床(偏差値50)、高齢者住宅等が10,031床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,038人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設56、介護医療院54、有料老人ホーム60、軽費ホーム47、グループホーム52、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値74と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2,976人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

(福岡・糸島医療圏) 2. 推移

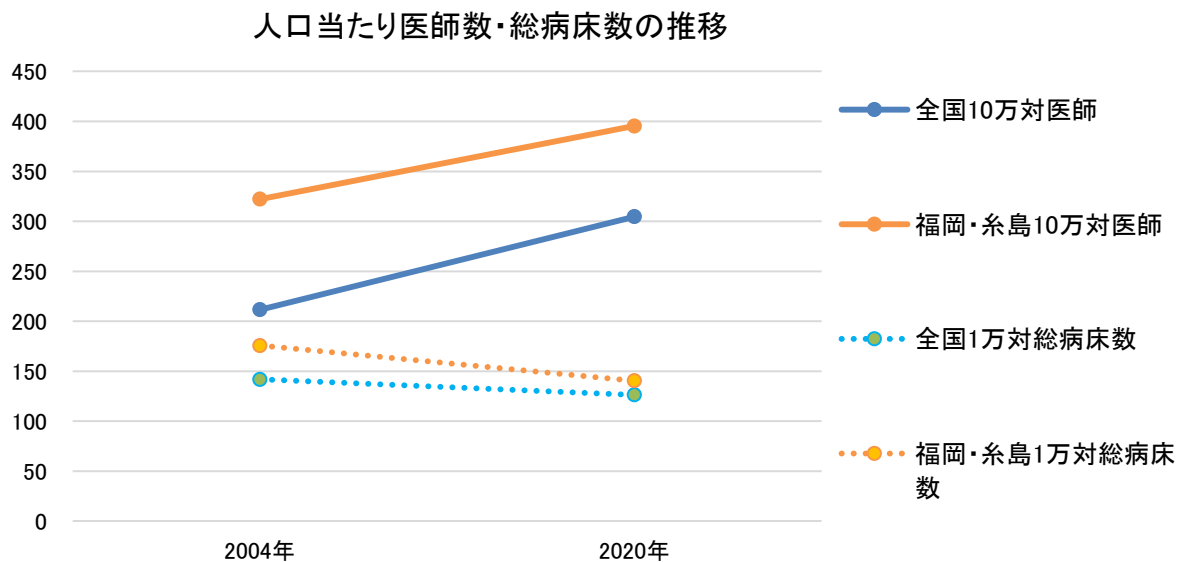
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は131(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2020年に122(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.5)偏差値51)となり、16年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数は1,372(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2020年に1,682(人口10万人当たり98診療所(全国平均81)偏差値59)と、310診療所が増加した。

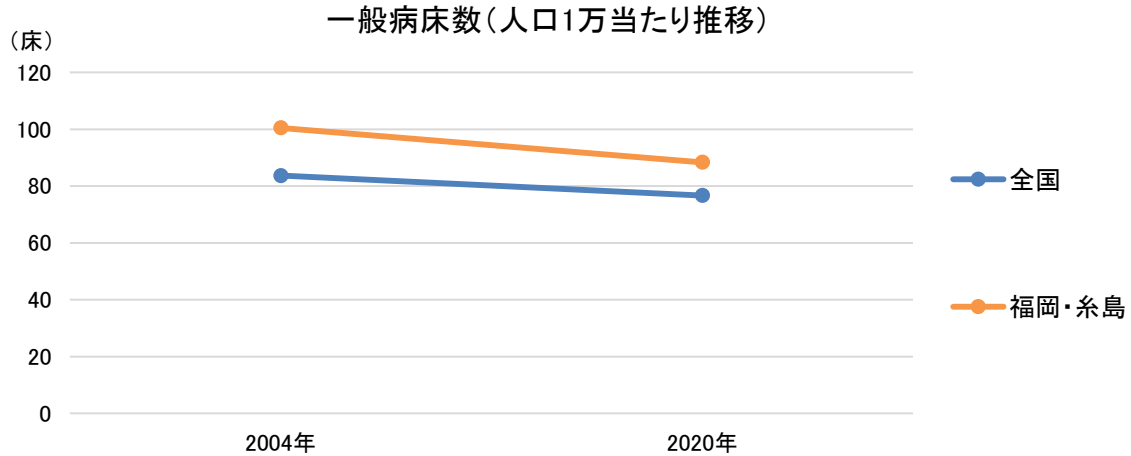
2004年の総病床数は26,329床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2020年に24,042床(人口1万人当たり140(全国平均126)偏差値53)と、2,287床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は4,830人(人口10万人当たり322人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2020年に6,766人(人口10万人当たり395人(全国平均305人)偏差値59)と、1,936人の増加、率にして40%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



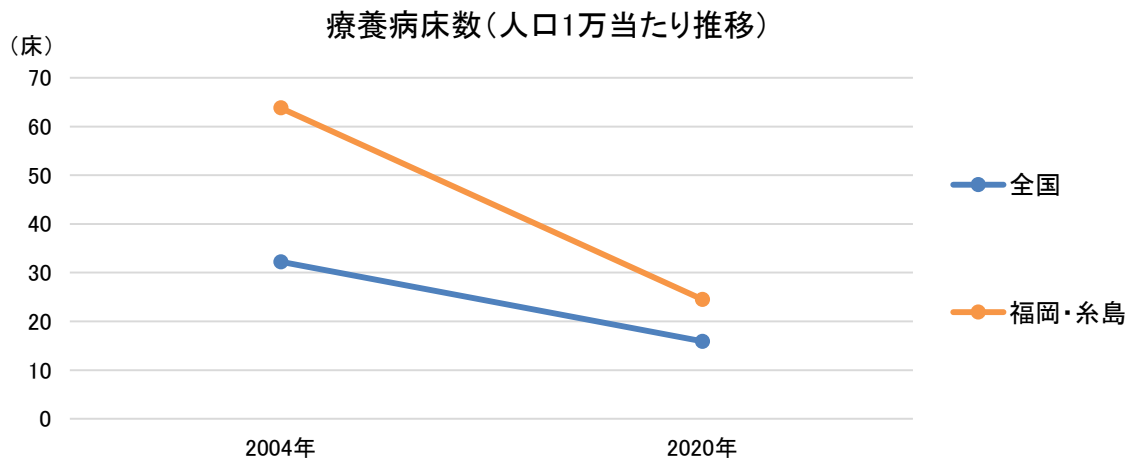
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は15,066床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2020年に15,122床(人口1万人当たり88(全国平均77)偏差値54)と、56床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は6,526床(75歳以上1,000人当たり64(全国平均32)偏差値68)であったが、2020年に4,513床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均16)偏差値59)と、2013床の減少、率にして31%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-2. かすや 粕屋医療圏

構成市区町村 [古賀市](#) [宇美町](#) [篠栗町](#) [志免町](#)
[須恵町](#) [新宮町](#) [久山町](#) [粕屋町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(粕屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 粕屋(古賀市)は、総人口約293千人(2020年)、面積207km²、人口密度は1,417人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 粕屋の総人口は2030年に292千人とほぼ変わらず(2020年比±0%)、2045年に281千人へと減少する(2030年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の33千人が、2030年にかけて46千人へと増加し(2020年比+39%)、2045年には47千人へと減少する(2030年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 粕屋の一人当たり医療費(国保)は384千円(偏差値53)、介護給付費は241千円(偏差値43)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。粕屋には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0福岡東医療センター(標準群・救命)、500例以上の福岡青洲会病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 粕屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,430人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,240床(偏差値58)、高齢者住宅等が1,190床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,038人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設104、介護医療院74、有料老人ホーム50、軽費ホーム50、グループホーム49、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、277人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(粕屋医療圏) 2. 推移

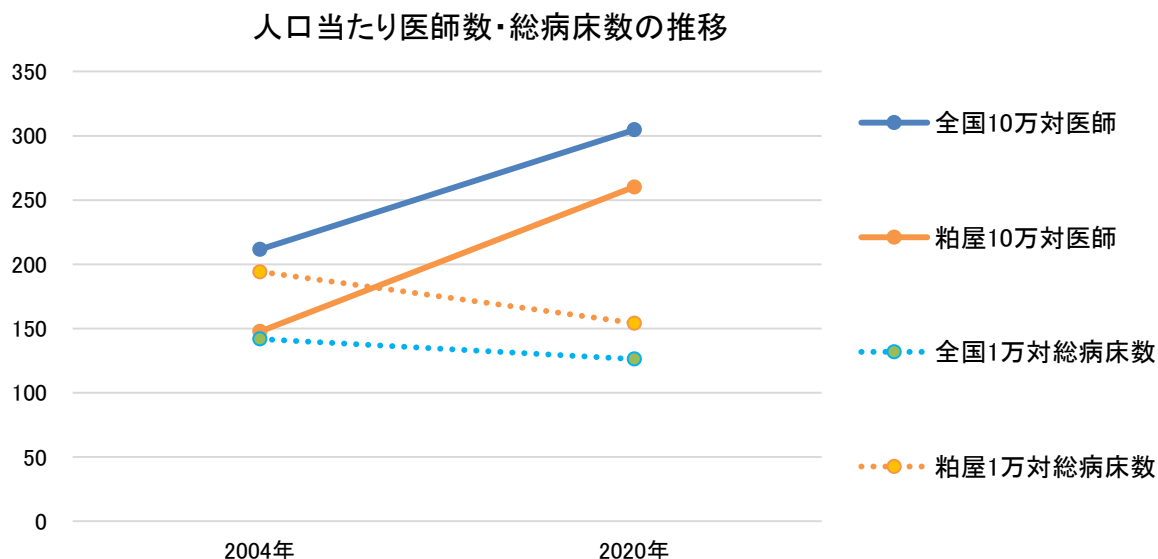
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は26(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2020年に26(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.5)偏差値56)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は135(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2020年に182(人口10万人当たり62診療所(全国平均81)偏差値40)と、47診療所が増加した。

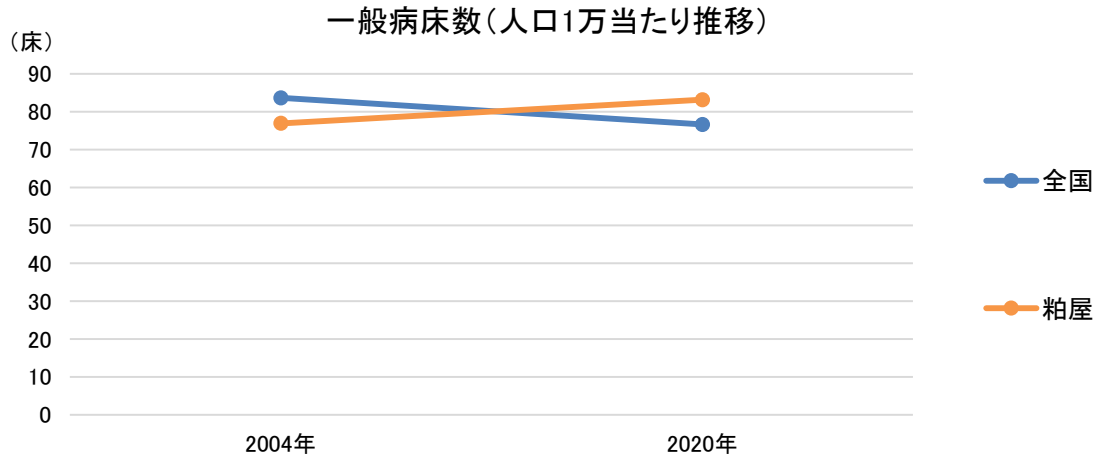
2004年の総病床数は5,071床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2020年に4,517床(人口1万人当たり154(全国平均126)偏差値55)と、554床の減少、率にして11%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は386人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2020年に762人(人口10万人当たり260人(全国平均305人)偏差値46)と、376人の増加、率にして97%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



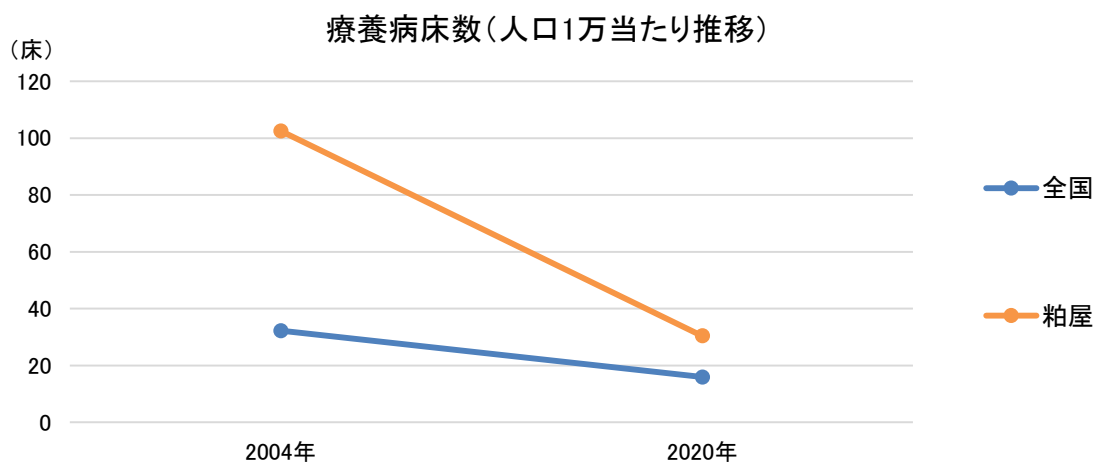
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,010床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2020年に2,436床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、426床の増加、率にして21%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,914床(75歳以上1,000人当たり103(全国平均32)偏差値90)であったが、2020年に1,007床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均16)偏差値66)と、907床の減少、率にして47%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-3. むなかた 宗像医療圏

構成市区町村 [宗像市](#) [福津市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(宗像医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 宗像(宗像市)は、総人口約164千人(2020年)、面積173km²、人口密度は950人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 宗像の総人口は2030年に159千人へと減少し(2020年比-3%)、2045年に146千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の24千人が、2030年にかけて32千人へと増加し(2020年比+33%)、2045年には30千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 宗像の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値57)、介護給付費は226千円(偏差値39)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。宗像には、年間全身麻酔件数が500例以上の宗像水光会総合病院(標準群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。
- *リハビリの現状： 療法士総数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 宗像の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,107人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,317床(偏差値50)、高齢者住宅等が790床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,559人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設69、介護医療院64、有料老人ホーム50、軽費ホーム50、グループホーム45、サ高住43である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、199人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(宗像医療圏) 2. 推移

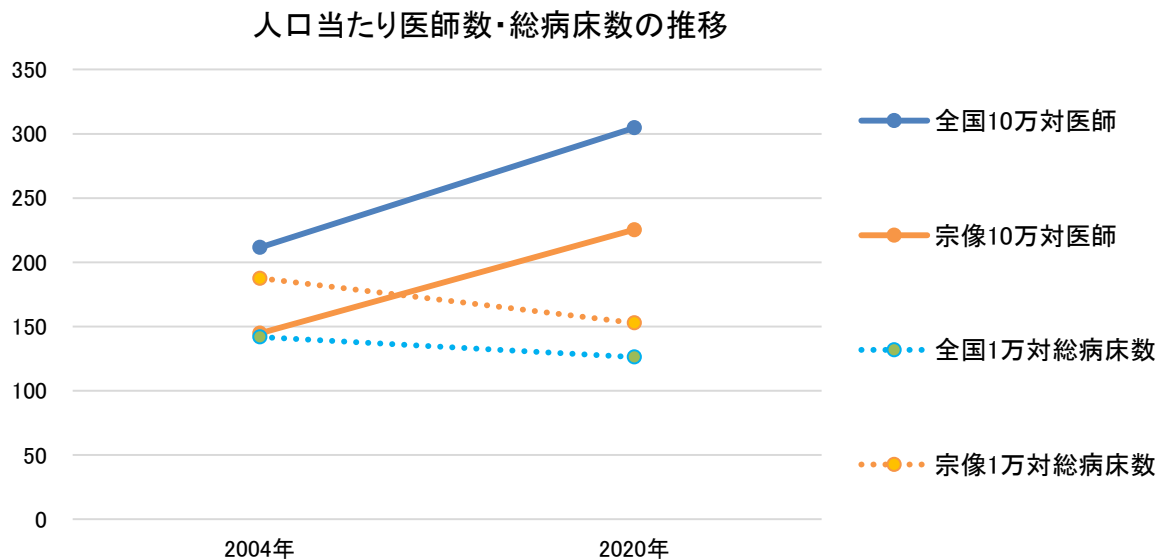
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は14(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に14(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.5)偏差値55)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は94(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2020年に124(人口10万人当たり76診療所(全国平均81)偏差値47)と、30診療所が増加した。

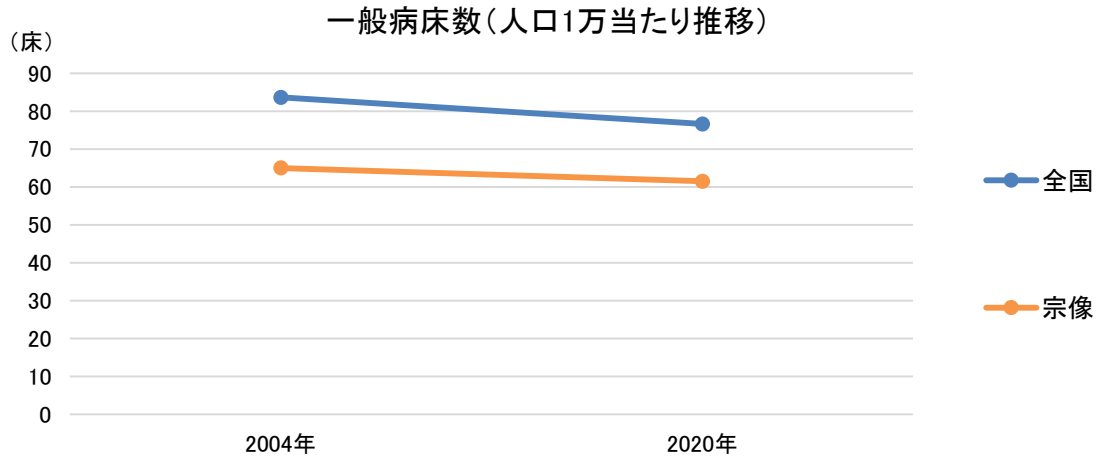
2004年の総病床数は2,810床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に2,508床(人口1万人当たり153(全国平均126)偏差値55)と、302床の減少、率にして11%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は217人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2020年に370人(人口10万人当たり225人(全国平均305人)偏差値42)と、153人の増加、率にして70%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



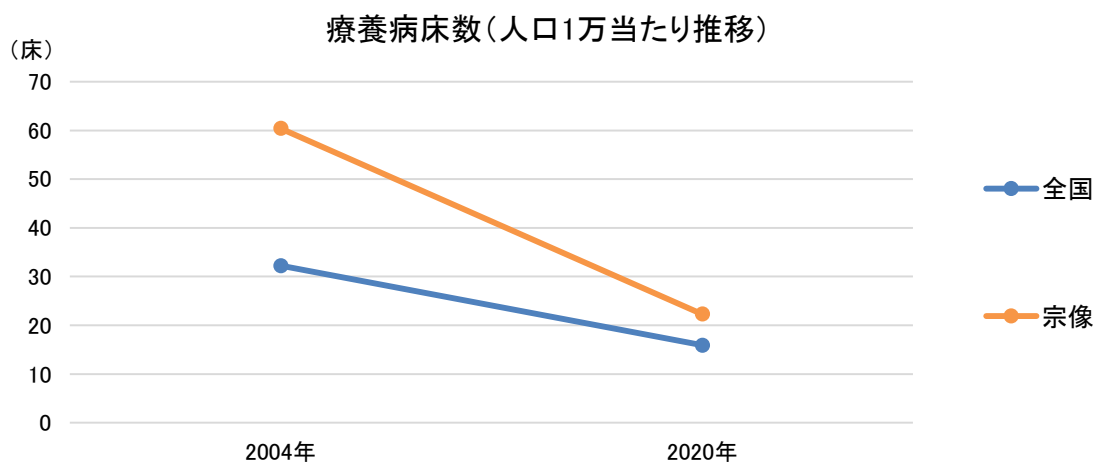
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は974床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2020年に1,010床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、36床の増加、率にして4%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は868床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2020年に530床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均16)偏差値57)と、338床の減少、率にして39%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-4. ^{ちくし}筑紫医療圏

構成市区町村

[筑紫野市](#)
[那珂川町](#)

[春日市](#)

[大野城市](#)

[太宰府市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(筑紫医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 筑紫(筑紫野市)は、総人口約440千人(2020年)、面積233km²、人口密度は1,885人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 筑紫の総人口は2030年に442千人とほぼ変わらず(2020年比±0%)、2045年に424千人へと減少する(2030年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の51千人が、2030年にかけて73千人へと増加し(2020年比+43%)、2045年には79千人へと減少する(2030年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 筑紫の一人当たり医療費(国保)は366千円(偏差値49)、介護給付費は216千円(偏差値35)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。筑紫には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡徳洲会病院(標準群)、1000例以上の福岡大学筑紫病院(標準群)、500例以上の福岡県済生会二日市病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 筑紫の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,683人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,331床(偏差値43)、高齢者住宅等が2,352床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,131人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設58、介護医療院57、有料老人ホーム58、軽費ホーム49、グループホーム47、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、523人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(筑紫医療圏) 2. 推移

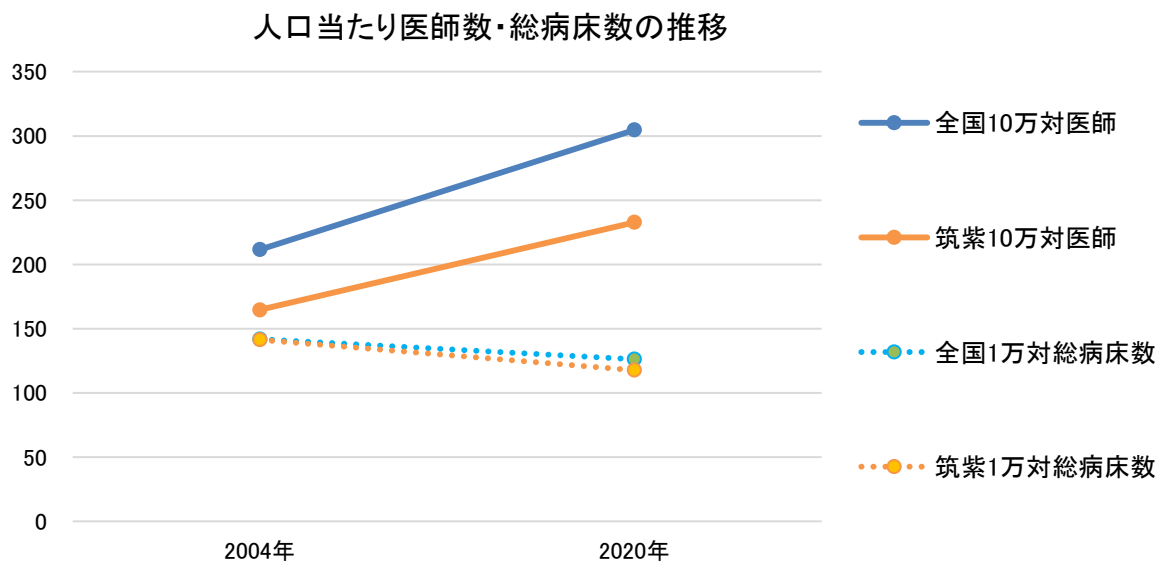
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は28(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2020年に27(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.5)偏差値49)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は248(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2020年に300(人口10万人当たり68診療所(全国平均81)偏差値43)と、52診療所が増加した。

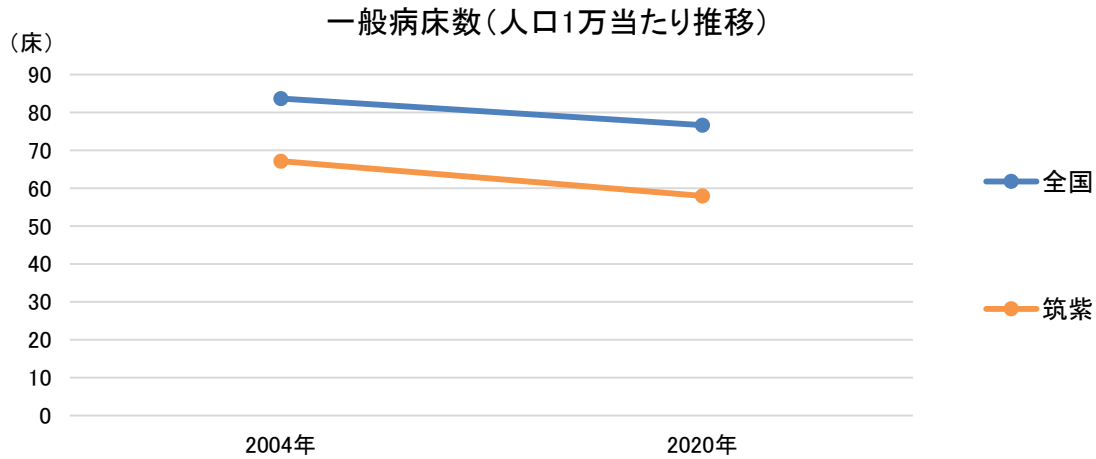
2004年の総病床数は5,837床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2020年に5,177床(人口1万人当たり118(全国平均126)偏差値48)と、660床の減少、率にして11%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は680人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に1,024人(人口10万人当たり233人(全国平均305人)偏差値43)と、344人の増加、率にして51%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



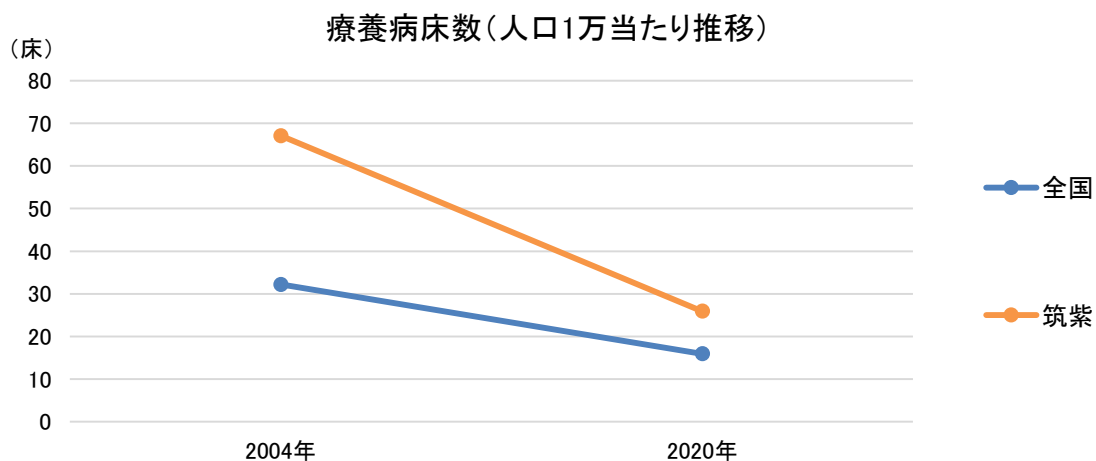
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,771床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2020年に2,548床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、223床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,755床(75歳以上1,000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2020年に1,314床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均16)偏差値61)と、441床の減少、率にして25%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-5. ^{あさくら}朝倉医療圏

構成市区町村

[朝倉市](#)

[筑前町](#)

[東峰村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(朝倉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 朝倉(朝倉市)は、総人口約82千人(2020年)、面積366km²、人口密度は224人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 朝倉の総人口は2030年に71千人へと減少し(2020年比-13%)、2045年に57千人へと減少する(2030年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の14千人が、2030年にかけて18千人へと増加し(2020年比+29%)、2045年には15千人へと減少する(2030年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 朝倉の一人当たり医療費(国保)は410千円(偏差値58)、介護給付費は267千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。朝倉には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 朝倉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,524人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,208床(偏差値72)、高齢者住宅等が316床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,226人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設81、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム46、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値85と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、56人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

(朝倉医療圏) 2. 推移

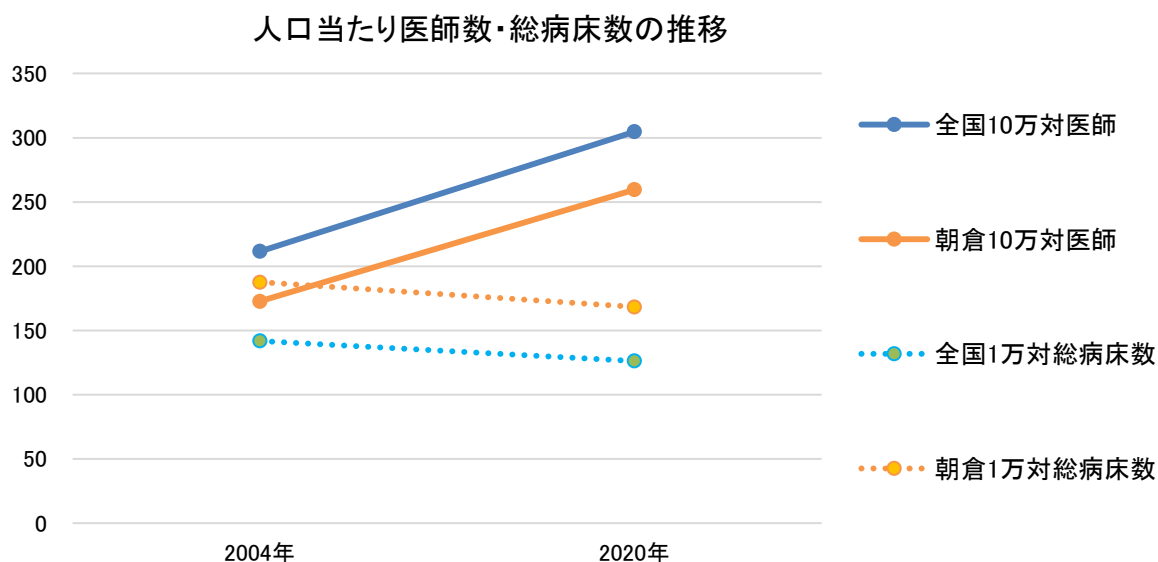
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は9(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2020年に8(人口10万人当たり9.8病院(全国平均6.5)偏差値58)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は75(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に75(人口10万人当たり92診療所(全国平均81)偏差値55)と、増減がなかった。

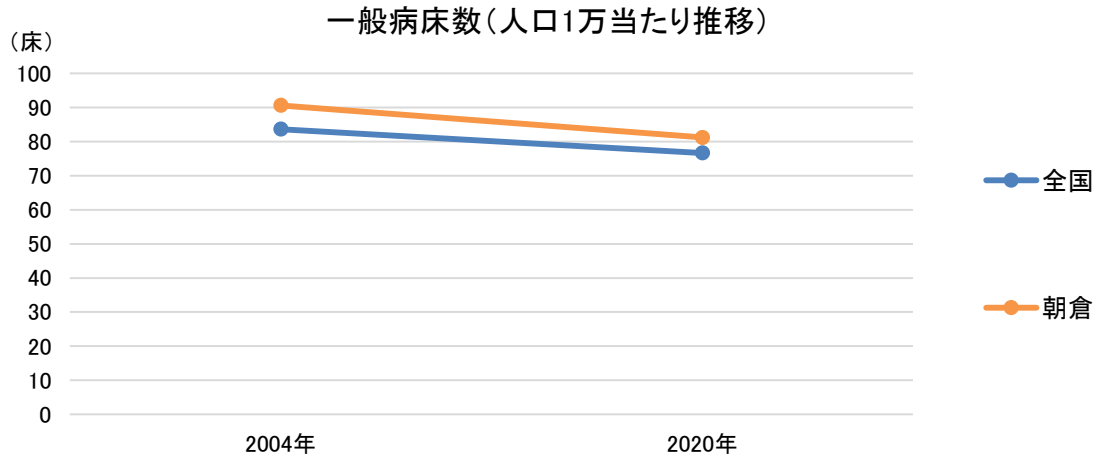
2004年の総病床数は1,716床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に1,376床(人口1万人当たり168(全国平均126)偏差値58)と、340床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は158人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2020年に212人(人口10万人当たり260人(全国平均305人)偏差値45)と、54人の増加、率にして34%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



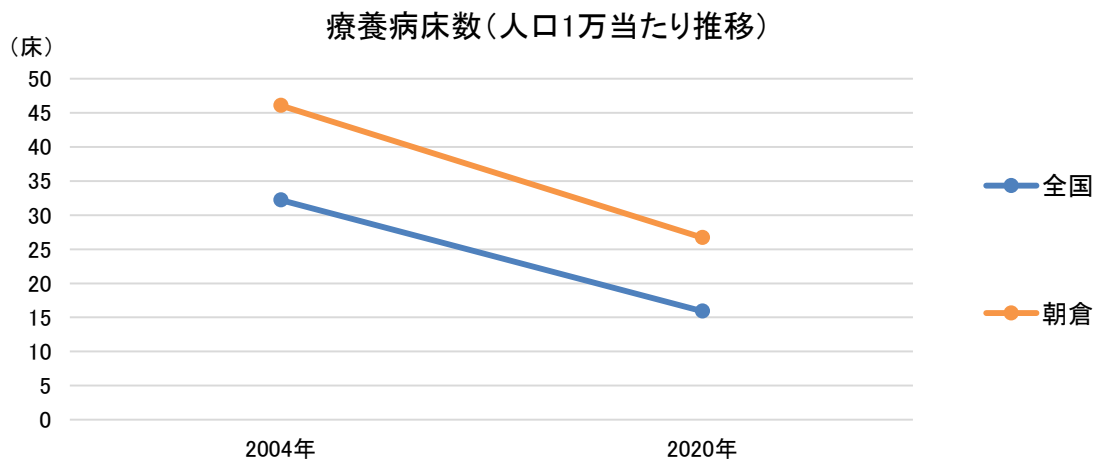
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は829床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値52)であったが、2020年に664床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、165床の減少、率にして20%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は529床(75歳以上1,000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2020年に372床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均16)偏差値62)と、157床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-6. く る め 久留米医療圏

構成市区町村 [久留米市](#) [大川市](#) [小郡市](#) [うきは市](#)
[大刀洗町](#) [大木町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(久留米医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：久留米(久留米市)は、総人口約453千人(2020年)、面積468km²、人口密度は968人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：久留米の総人口は2030年に431千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に390千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の67千人が、2030年にかけて85千人へと増加し(2020年比+27%)、2045年には84千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：久留米の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値56)、介護給付費は268千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が69(病院医師数71、診療所医師数60)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は64と多い。久留米には、年間全身麻酔件数が2000例以上の聖マリア病院(標準群・救命)、久留米大学病院(大学本院群・救命)、1000例以上の古賀病院21(標準群)、JCHO久留米総合病院(標準群)、新古賀病院(特定群)、500例以上の高木病院(標準群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状：療法士総数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：久留米の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,377人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,595床(偏差値49)、高齢者住宅等が2,782床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,517人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設60、介護医療院56、有料老人ホーム44、軽費ホーム48、グループホーム67、サ高住45である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値67と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、665人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(久留米医療圏) 2. 推移

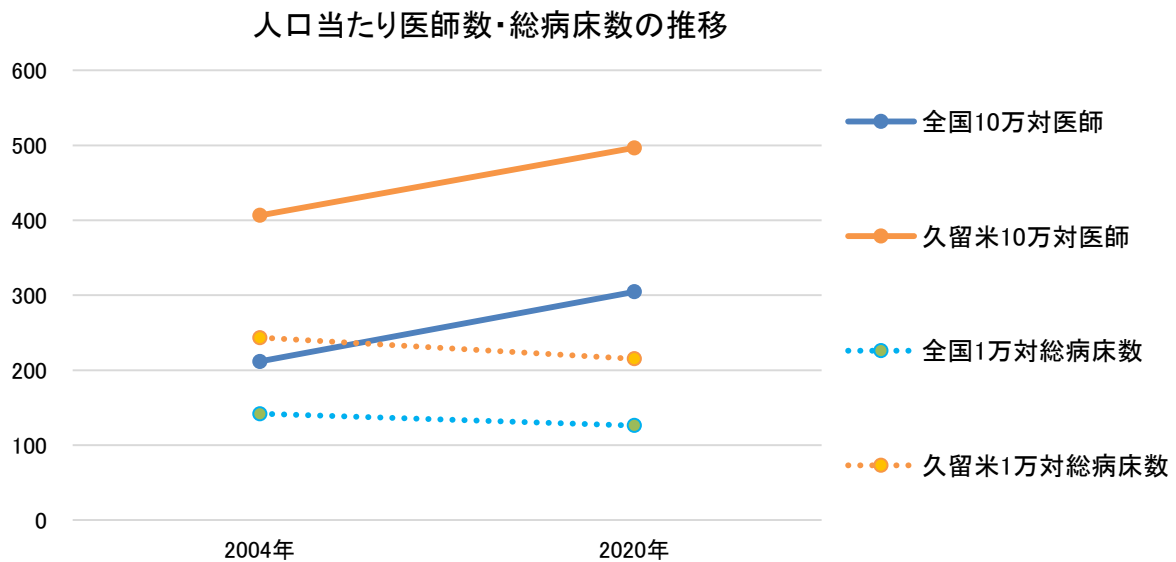
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は49(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2020年に47(人口10万人当たり10.4病院(全国平均6.5)偏差値59)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は433(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2020年に447(人口10万人当たり99診療所(全国平均81)偏差値59)と、14診療所が増加した。

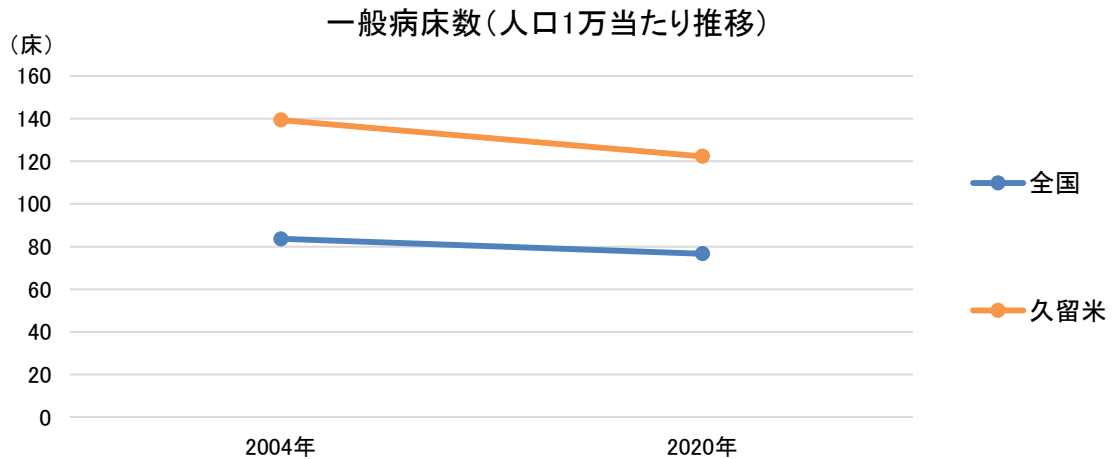
2004年の総病床数は11,336床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2020年に9,752床(人口1万人当たり215(全国平均126)偏差値67)と、1,584床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,894人(人口10万人当たり407人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2020年に2,250人(人口10万人当たり497人(全国平均305人)偏差値69)と、356人の増加、率にして19%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



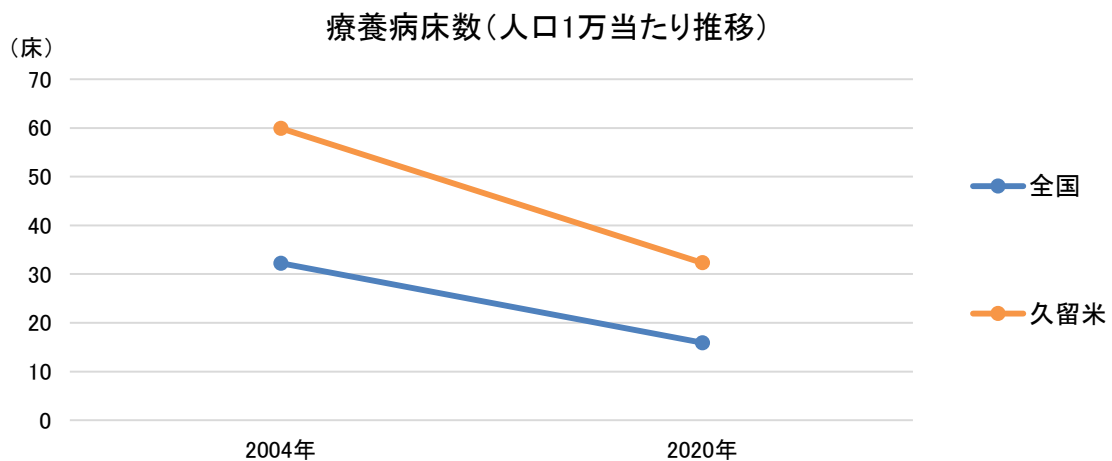
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は6,492床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2020年に5,542床(人口1万人当たり122(全国平均77)偏差値67)と、950床の減少、率にして15%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,644床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2020年に2,156床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均16)偏差値68)と、488床の減少、率にして18%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-7. やめちくご 八女・筑後医療圏

構成市区町村 [八女市](#) [筑後市](#) [広川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(八女・筑後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八女・筑後(八女市)は、総人口約129千人(2020年)、面積562km²、人口密度は230人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八女・筑後の総人口は2030年に116千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に98千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の22千人が、2030年にかけて26千人へと増加し(2020年比+18%)、2045年には24千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八女・筑後の一人当たり医療費(国保)は400千円(偏差値56)、介護給付費は269千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。八女・筑後には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立八女総合病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は72と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八女・筑後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,317人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,627床(偏差値63)、高齢者住宅等が690床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,964人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院50、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム61、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、235人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(八女・筑後医療圏) 2. 推移

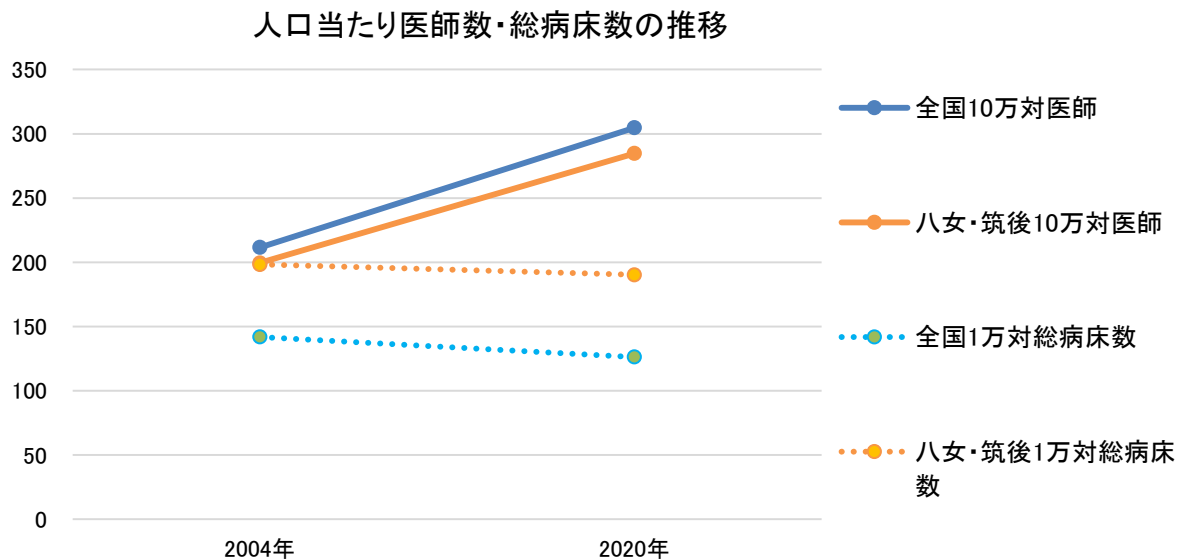
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は14(人口10万人当たり9.9病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2020年に14(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.5)偏差値60)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は120(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2020年に122(人口10万人当たり94診療所(全国平均81)偏差値57)と、2診療所が増加した。

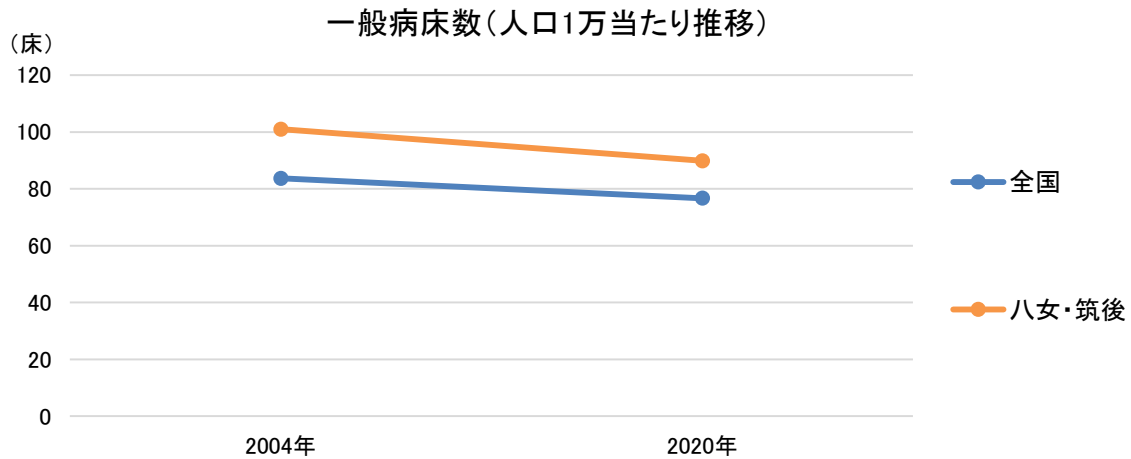
2004年の総病床数は2,803床(人口1万人当たり198(全国平均142)偏差値60)であったが、2020年に2,463床(人口1万人当たり190(全国平均126)偏差値62)と、340床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は282人(人口10万人当たり199人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2020年に369人(人口10万人当たり285人(全国平均305人)偏差値48)と、87人の増加、率にして31%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



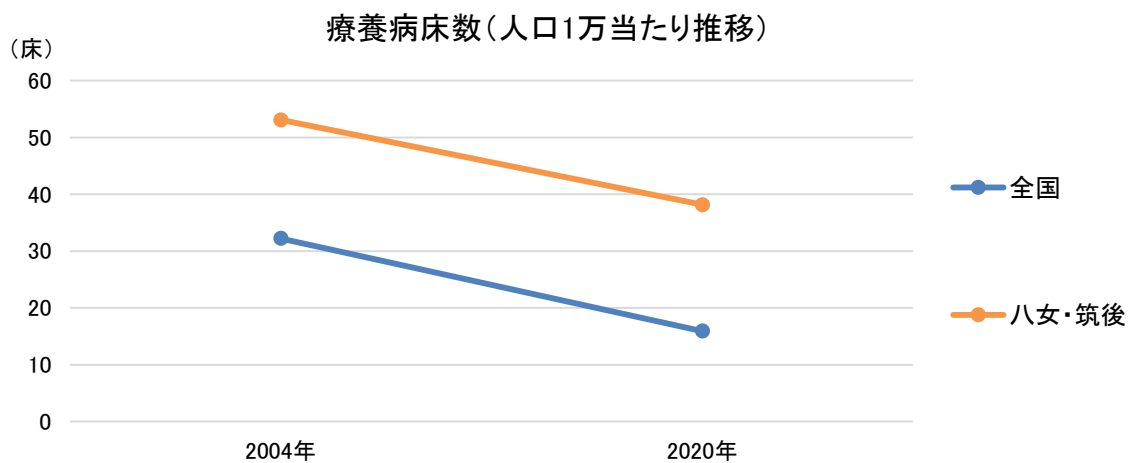
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,427床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2020年に1,163床(人口1万人当たり90(全国平均77)偏差値55)と、264床の減少、率にして19%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は912床(75歳以上1,000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2020年に834床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均16)偏差値74)と、78床の減少、率にして9%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-8. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村

[大牟田市](#)

[柳川市](#)

[みやま市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 有明(大牟田市)は、総人口約212千人(2020年)、面積264km²、人口密度は802人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 有明の総人口は2030年に182千人へと減少し(2020年比-14%)、2045年に140千人へと減少する(2030年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の41千人が、2030年にかけて47千人へと増加し(2020年比+15%)、2045年には40千人へと減少する(2030年比-23%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は443千円(偏差値66)、介護給付費は271千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数52、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は79と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は79で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。有明には、年間全身麻酔件数が500例以上の大牟田市立病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値78と非常に多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は74で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,159人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,848床(偏差値60)、高齢者住宅等が1,311床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,376人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設63、介護医療院54、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム53、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、508人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(有明医療圏) 2. 推移

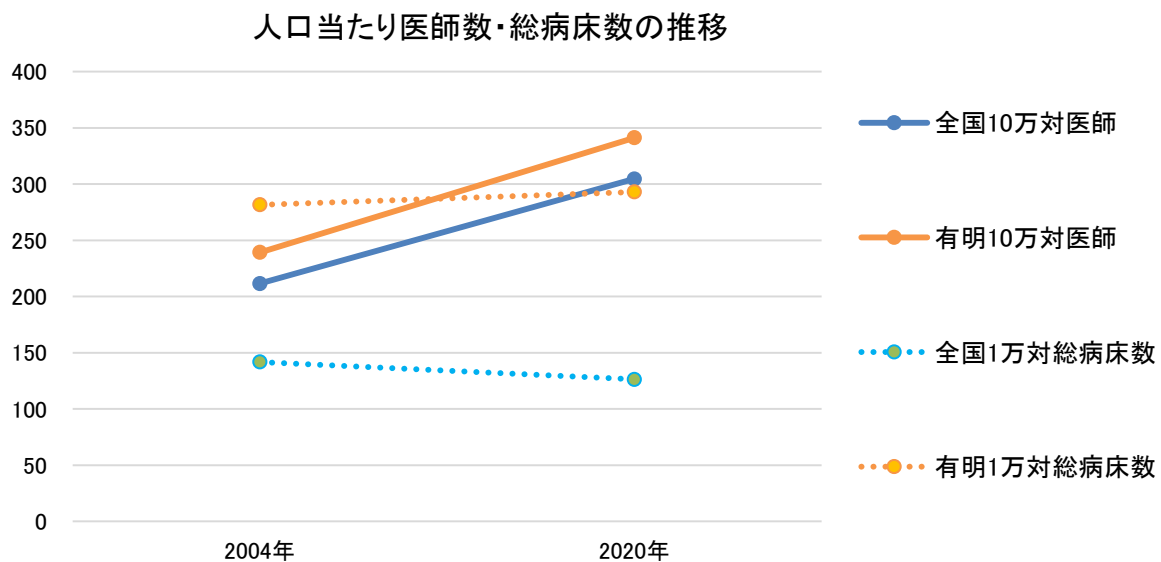
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は34(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2020年に32(人口10万人当たり15.1病院(全国平均6.5)偏差値71)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は244(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2020年に209(人口10万人当たり99診療所(全国平均81)偏差値59)と、35診療所が減少した。

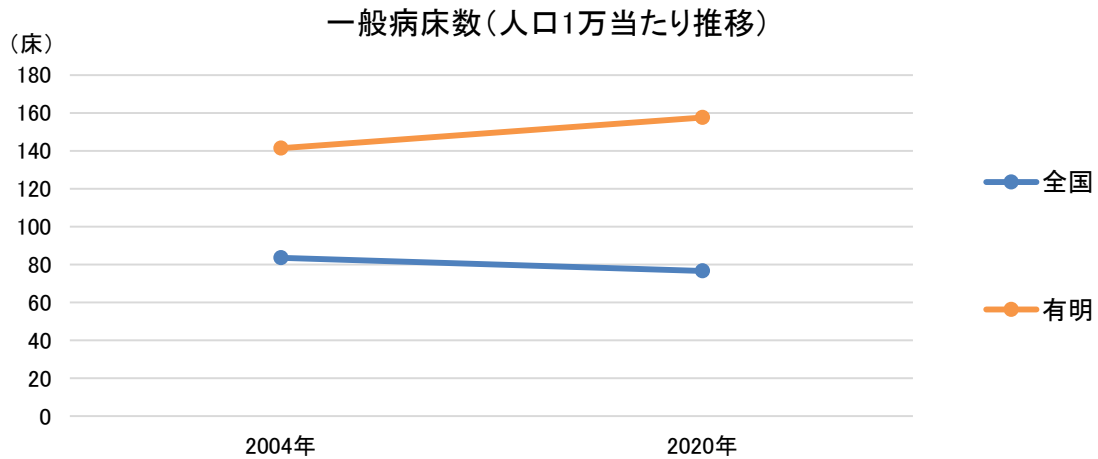
2004年の総病床数は7,012床(人口1万人当たり282(全国平均142)偏差値75)であったが、2020年に6,202床(人口1万人当たり293(全国平均126)偏差値81)と、810床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は596人(人口10万人当たり239人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2020年に722人(人口10万人当たり341人(全国平均305人)偏差値54)と、126人の増加、率にして21%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



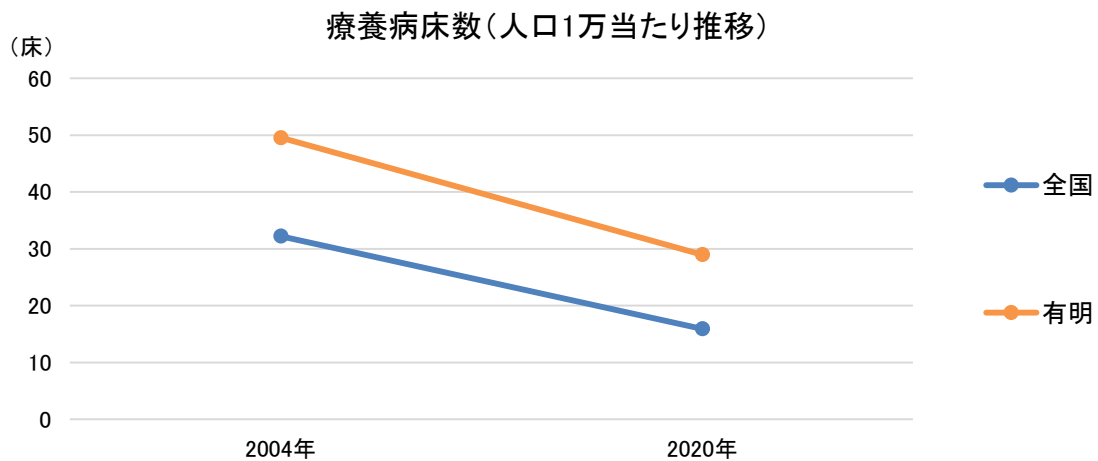
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,523床(人口1万人当たり141(全国平均84)偏差値71)であったが、2020年に3,337床(人口1万人当たり158(全国平均77)偏差値81)と、186床の減少、率にして5%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,667床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2020年に1,177床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均16)偏差値64)と、490床の減少、率にして29%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-9. い い づ か 飯塚医療圏

構成市区町村

[飯塚市](#)

[嘉麻市](#)

[桂川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(飯塚医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 飯塚(飯塚市)は、総人口約175千人(2020年)、面積369km²、人口密度は473人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 飯塚の総人口は2030年に157千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に131千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の29千人が、2030年にかけて36千人へと増加し(2020年比+24%)、2045年には29千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 飯塚の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値56)、介護給付費は304千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が63(病院医師数68、診療所医師数49)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は78で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は60と多い。飯塚には、年間全身麻酔件数が2000例以上の飯塚病院(特定群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 飯塚の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,827人(75歳以上1,000人当たりの偏差値72)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,382床(偏差値69)、高齢者住宅等が1,445床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,361人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設60、介護医療院61、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム55、サ高住57である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、472人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

(飯塚医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

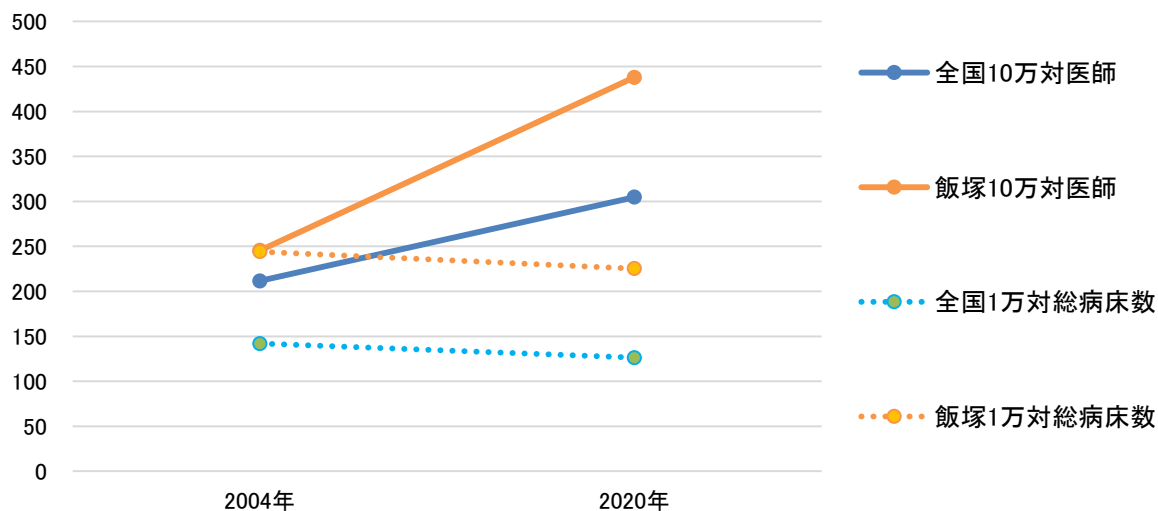
2004年の病院数は24(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2020年に21(人口10万人当たり12病院(全国平均6.5)偏差値63)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は167(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に166(人口10万人当たり95診療所(全国平均81)偏差値57)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数は4,731床(人口1万人当たり244(全国平均142)偏差値68)であったが、2020年に3,937床(人口1万人当たり225(全国平均126)偏差値68)と、794床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

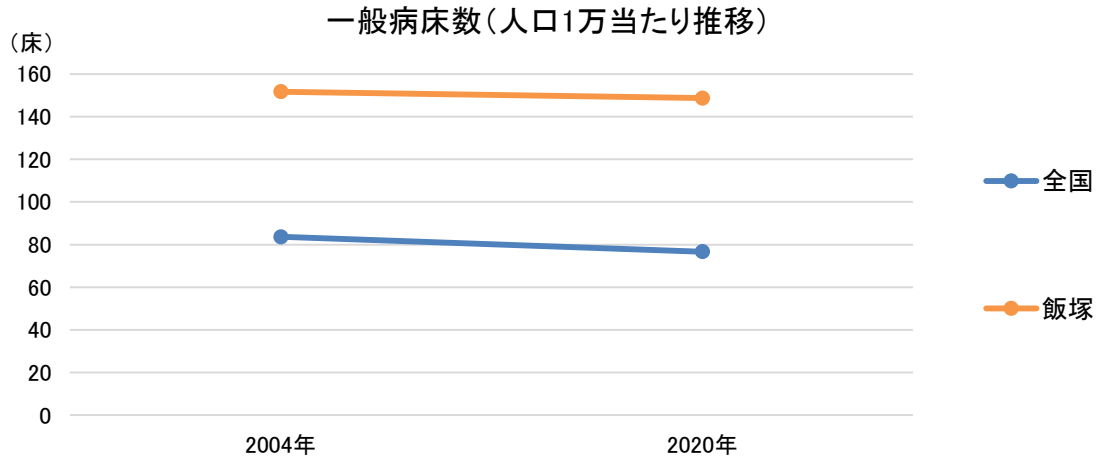
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は476人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2020年に765人(人口10万人当たり438人(全国平均305人)偏差値63)と、289人の増加、率にして61%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



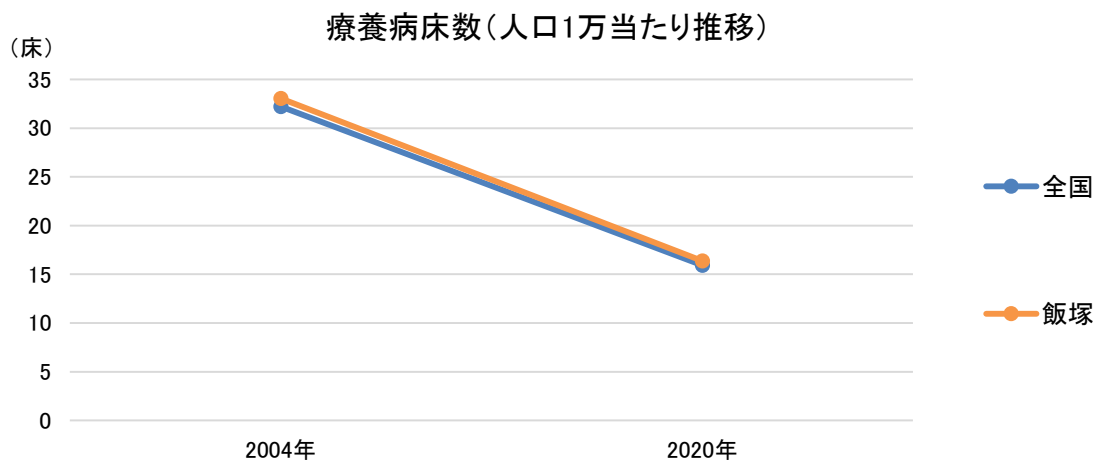
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,941床(人口1万人当たり152(全国平均84)偏差値74)であったが、2020年に2,599床(人口1万人当たり149(全国平均77)偏差値77)と、342床の減少、率にして12%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は770床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2020年に477床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値51)と、293床の減少、率にして38%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-10. のおがた くら て 直方・鞍手医療圏

構成市区町村

[直方市](#)

[宮若市](#)

[小竹町](#)

[鞍手町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(直方・鞍手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 直方・鞍手(直方市)は、総人口約105千人(2020年)、面積252km²、人口密度は416人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 直方・鞍手の総人口は2030年に94千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に78千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の20千人が、2030年にかけて23千人へと増加し(2020年比+15%)、2045年には18千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 直方・鞍手の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値57)、介護給付費は274千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。直方・鞍手には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 直方・鞍手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,924人(75歳以上1,000人当たりの偏差値83)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,530床(偏差値66)、高齢者住宅等が1,394床(偏差値72)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,753人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設73、介護医療院57、有料老人ホーム61、軽費ホーム68、グループホーム69、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、252人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(直方・鞍手医療圏) 2. 推移

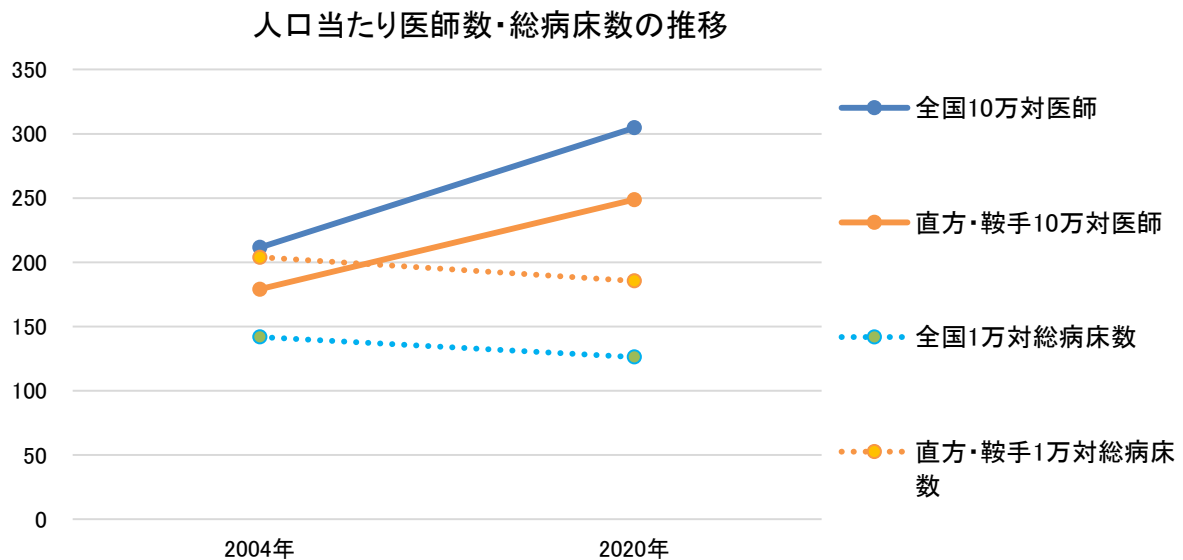
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は13(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2020年に12(人口10万人当たり11.5病院(全国平均6.5)偏差値62)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は100(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に100(人口10万人当たり95診療所(全国平均81)偏差値57)と、増減がなかった。

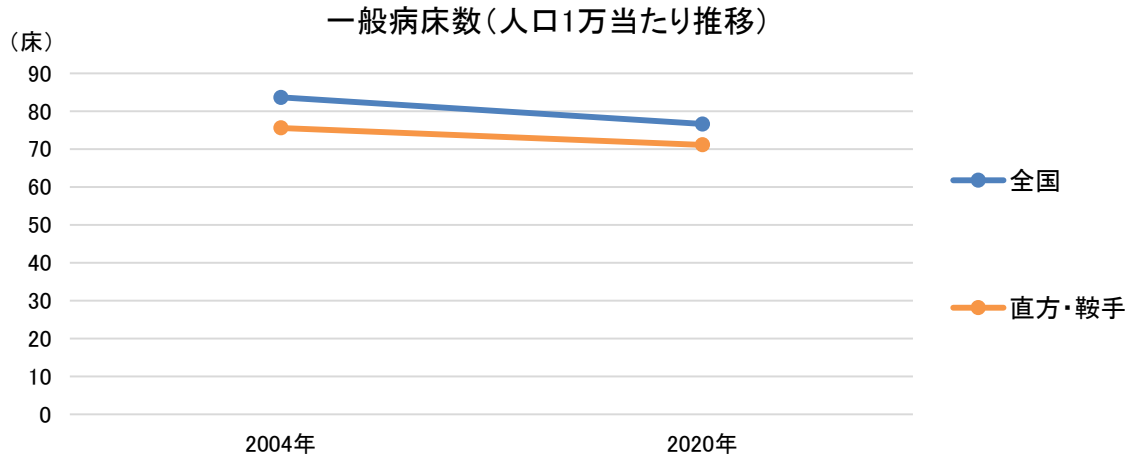
2004年の総病床数は2,357床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2020年に1,943床(人口1万人当たり186(全国平均126)偏差値61)と、414床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は207人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2020年に261人(人口10万人当たり249人(全国平均305人)偏差値44)と、54人の増加、率にして26%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



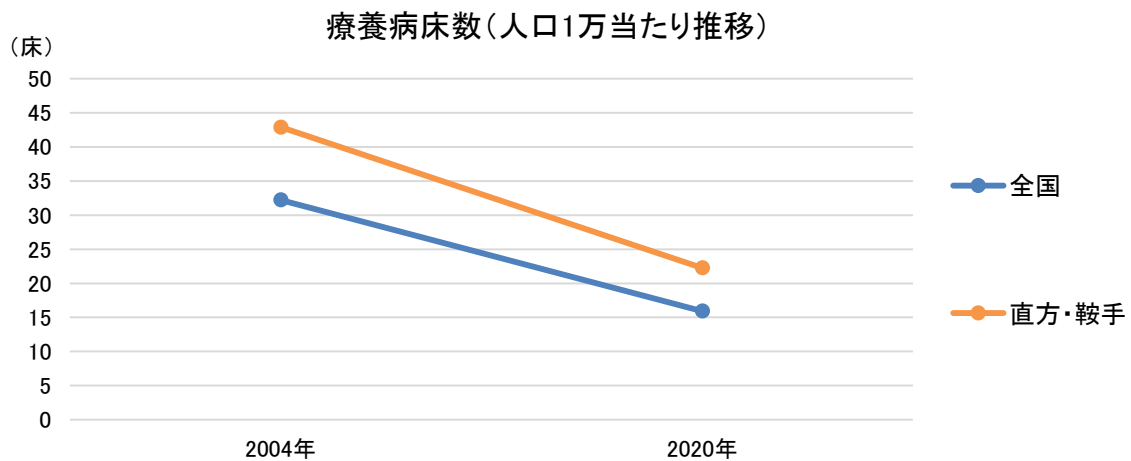
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は874床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2020年に745床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、129床の減少、率にして15%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は640床(75歳以上1,000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2020年に438床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均16)偏差値57)と、202床の減少、率にして32%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



た が わ
40-11. 田川医療圏

構成市区町村 [田川市](#) [香春町](#) [添田町](#) [糸田町](#)
[川崎町](#) [大任町](#) [赤村](#) [福智町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(田川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 田川(田川市)は、総人口約118千人(2020年)、面積364km²、人口密度は324人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 田川の総人口は2030年に99千人へと減少し(2020年比-16%)、2045年に73千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の23千人が、2030年にかけて25千人へと増加し(2020年比+9%)、2045年には18千人へと減少する(2030年比-26%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 田川の一人当たり医療費(国保)は390千円(偏差値54)、介護給付費は259千円(偏差値49)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数54、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。田川には、年間全身麻酔件数が500例以上の社会保険田川病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は102で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 田川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,807人(75歳以上1,000人当たりの偏差値96)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,409床(偏差値86)、高齢者住宅等が1,398床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,600人(75歳以上1,000人当たりの偏差値85)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設74、特別養護老人ホーム87、介護療養型医療施設55、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム49、軽費ホーム60、グループホーム91、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値93と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、588人(75歳以上1,000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(田川医療圏) 2. 推移

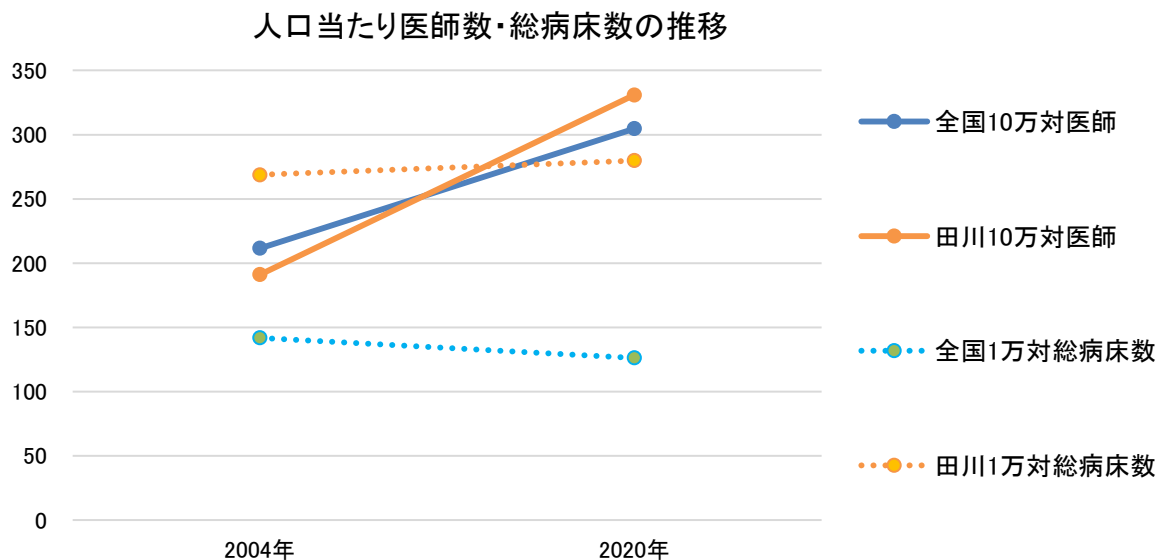
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は17(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2020年に16(人口10万人当たり13.6病院(全国平均6.5)偏差値67)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は112(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に107(人口10万人当たり91診療所(全国平均81)偏差値55)と、5診療所が減少した。

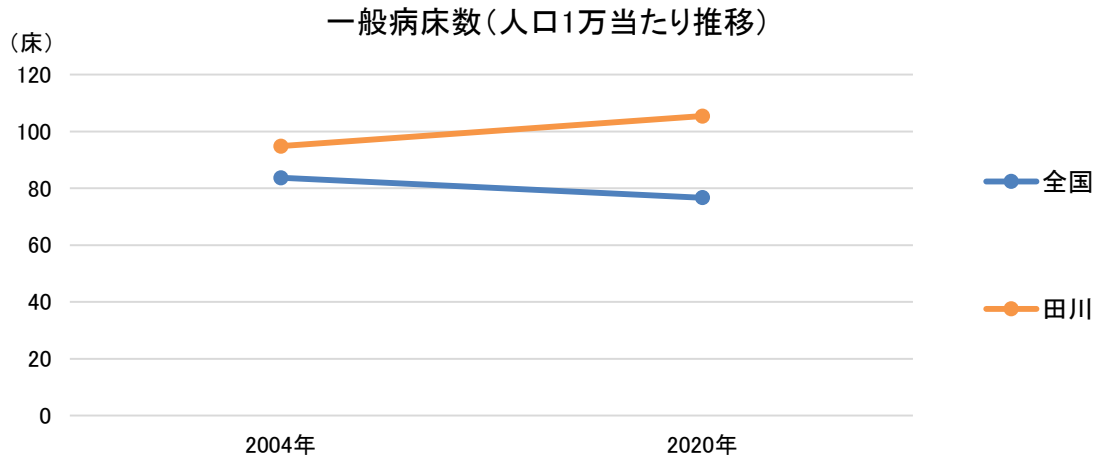
2004年の総病床数は3,783床(人口1万人当たり269(全国平均142)偏差値73)であったが、2020年に3,301床(人口1万人当たり280(全国平均126)偏差値79)と、482床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は269人(人口10万人当たり191人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2020年に390人(人口10万人当たり331人(全国平均305人)偏差値53)と、121人の増加、率にして45%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



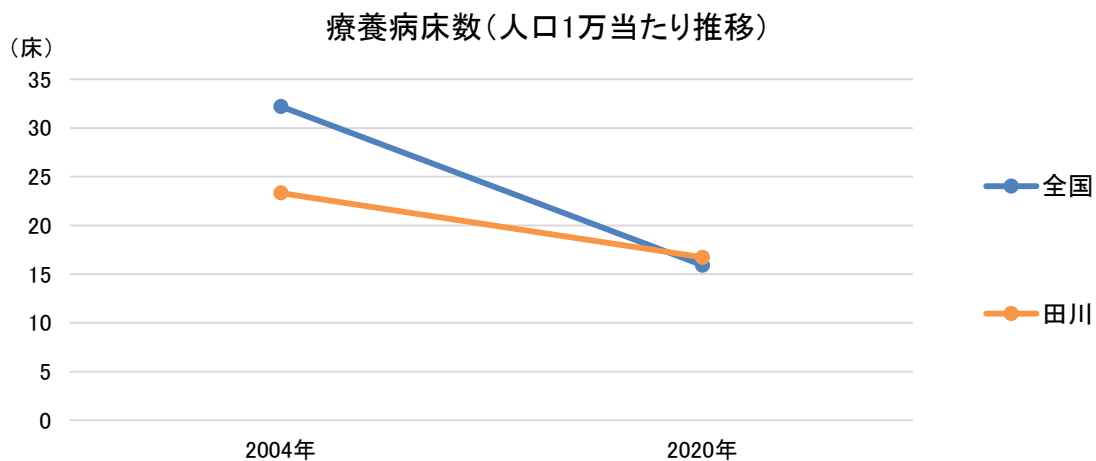
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,334床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2020年に1,243床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、91床の減少、率にして7%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は440床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2020年に379床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、61床の減少、率にして14%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



きたきゅうしゅう
40-12. 北九州医療圏

構成市区町村	門司区	若松区	戸畑区	小倉北区
	小倉南区	八幡東区	八幡西区	中間市
	芦屋町	水巻町	岡垣町	遠賀町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(北九州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北九州(北九州市門司区)は、総人口約1,071千人(2020年)、面積601km²、人口密度は1,782人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北九州の総人口は2030年に992千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に864千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の180千人が、2030年にかけて215千人へと増加し(2020年比+19%)、2045年には193千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北九州の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値58)、介護給付費は285千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が62(病院医師数62、診療所医師数57)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は70と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。北九州には、年間全身麻酔件数が2000例以上の北九州市立医療センター(標準群)、小倉記念病院(標準群)、九州労災病院(標準群)、JCHO九州病院(特定群)、産業医科大学病院(大学本院群)、1000例以上の北九州総合病院(標準群・救命)、新小文字病院(標準群)、500例以上のNH0小倉医療センター(標準群)、大手町病院(標準群)、北九州市立八幡病院(標準群・救命)、済生会八幡総合病院(標準群)、製鉄記念八幡病院(標準群)、戸畑共立病院(標準群)、福岡新水巻病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北九州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,939人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が10,507床(偏差値52)、高齢者住宅等が7,432床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,896人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設59、介護医療院52、有料老人ホーム53、軽費ホーム53、グループホーム54、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,299人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(北九州医療圏) 2. 推移

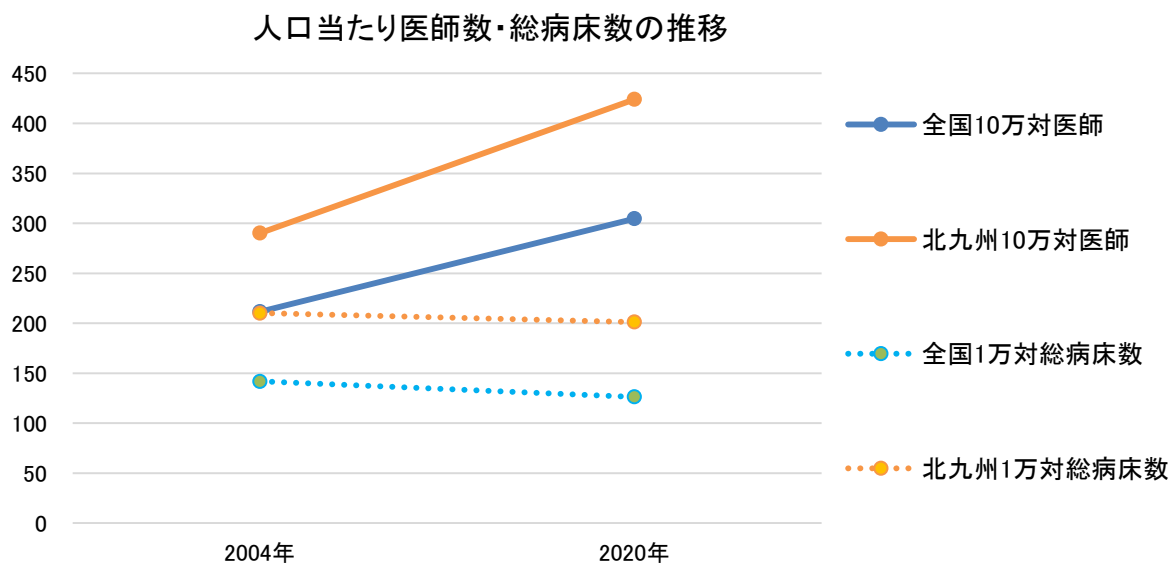
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は105(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に103(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.5)偏差値57)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は1,109(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2020年に1,043(人口10万人当たり97診療所(全国平均81)偏差値58)と、66診療所が減少した。

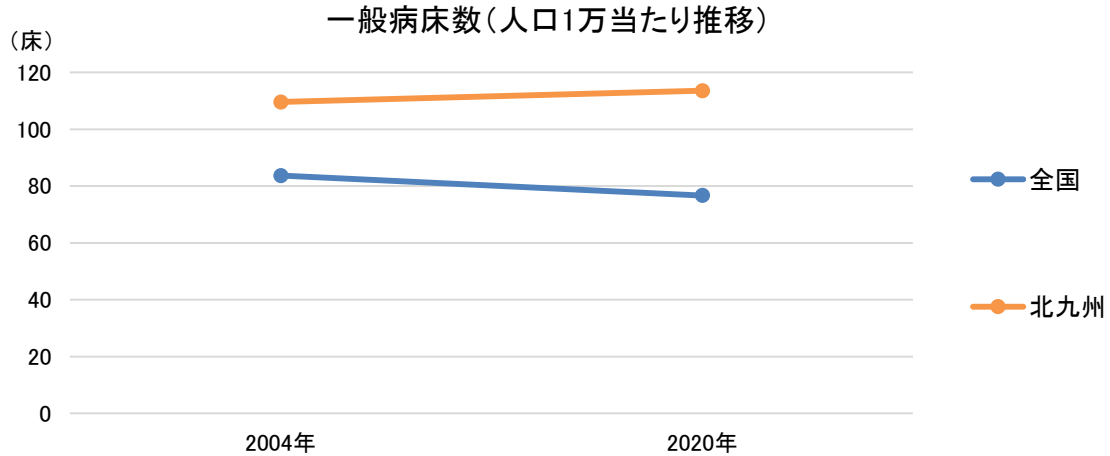
2004年の総病床数は23,901床(人口1万人当たり210(全国平均142)偏差値62)であったが、2020年に21,554床(人口1万人当たり201(全国平均126)偏差値64)と、2,347床の減少、率にして10%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は3,302人(人口10万人当たり290人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2020年に4,541人(人口10万人当たり424人(全国平均305人)偏差値62)と、1,239人の増加、率にして38%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



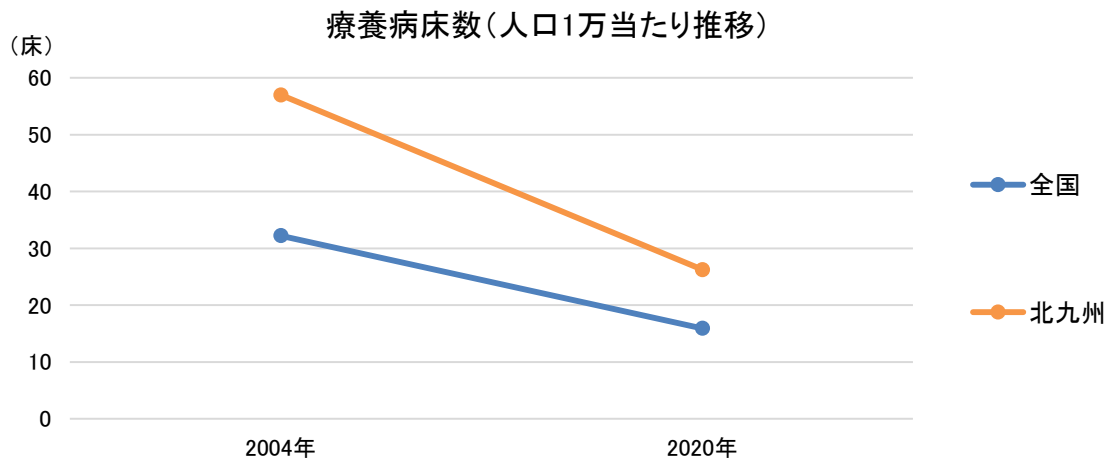
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は12,465床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2020年に12,158床(人口1万人当たり114(全国平均77)偏差値64)と、307床の減少、率にして2%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は6,581床(75歳以上1,000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2020年に4,720床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均16)偏差値61)と、1,861床の減少、率にして28%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



40-13. けいちく京築医療圏

構成市区町村

[行橋市](#)
[吉富町](#)

[豊前市](#)
[上毛町](#)

[苅田町](#)
[築上町](#)

[みやこ町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(京築医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：京築(行橋市)は、総人口約183千人(2020年)、面積569km²、人口密度は322人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：京築の総人口は2030年に162千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に136千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の31千人が、2030年にかけて36千人へと増加し(2020年比+16%)、2045年には31千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：京築の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値59)、介護給付費は250千円(偏差値46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が41(病院医師数38、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。京築には、年間全身麻酔件数が500例以上の新行橋病院(標準群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状：療法士総数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：京築の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,569人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,102床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,467床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,252人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設50、介護医療院47、有料老人ホーム61、軽費ホーム59、グループホーム51、サ高住40である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、313人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(京築医療圏) 2. 推移

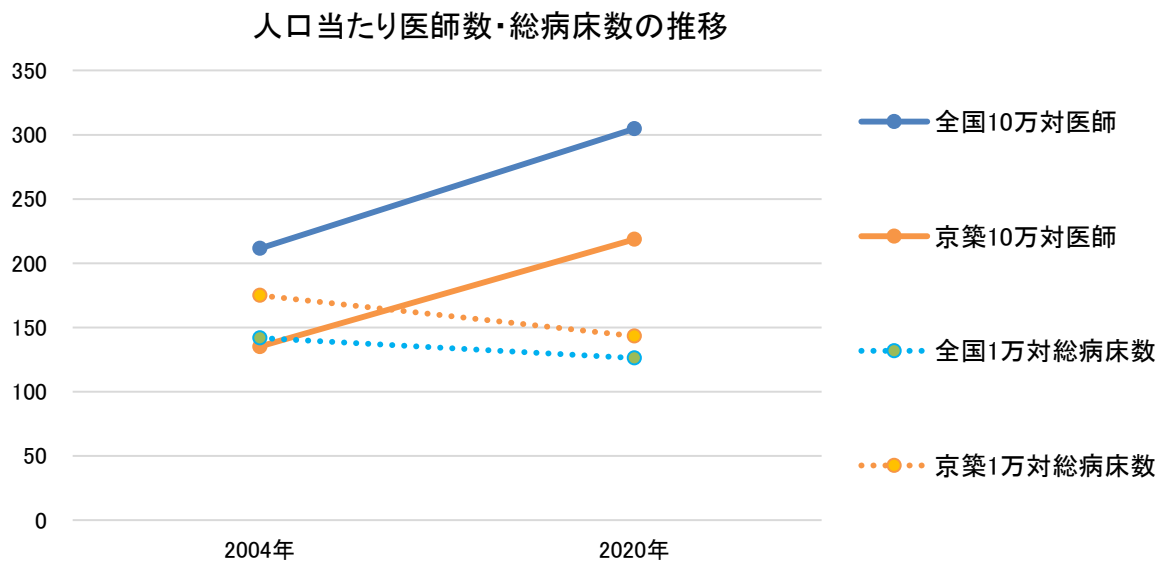
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は17(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2020年に14(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.5)偏差値53)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は148(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2020年に154(人口10万人当たり84診療所(全国平均81)偏差値51)と、6診療所が増加した。

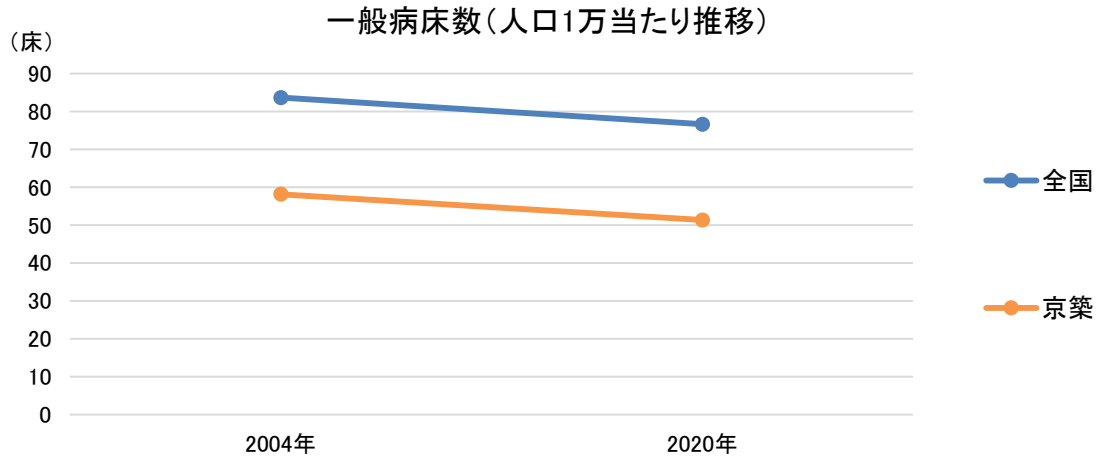
2004年の総病床数は3,353床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2020年に2,627床(人口1万人当たり143(全国平均126)偏差値53)と、726床の減少、率にして22%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は259人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2020年に401人(人口10万人当たり219人(全国平均305人)偏差値41)と、142人の増加、率にして55%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,114床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2020年に941床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、173床の減少、率にして16%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,297床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2020年に786床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均16)偏差値60)と、511床の減少、率にして39%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

